

地域に根差し・共に歩む公民館

さいたま市立与野本町公民館

公民館の取組概要・経過

- ◎かつて与野の町で催されていた民族伝統芸能を今に呼び起こし、地域の歴史や伝統を再認識する講座を実施している。これまで4年間にわたり「二胡の調べ」「津軽三味線」「琴とバイオリンのコラボコンサート」「講談」「落語」などの講座を実施し、今回、伝統芸に親しむ「浪曲与野本町亭」を開催した。開催意図を話したところ浪曲協会会長さんの快諾を得て実現した。
- ◎保育園・小・中・高等学校との交流・連携で事業の活性化を図り、新たな来館者を増やしている。

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・伝統的な楽器演奏や話芸の講座を楽しみにしている方も多く、地域の歴史を学び、触れる機会を作ることで、地域交流の場となっている。
- ・保育園・小・中・高等学校との連携で、今まで公民館を利用していなかった人達の来館が増え、世代間・地域交流に繋がった。



都道府県名	埼玉県	公民館対象人口	28940人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	さいたま市	建物設置年月日	昭和47年2月28日	来館者利用可能PC台数	1台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1343人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1621人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 25708人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2064人	計	30736人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	4人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 保育園					

さいたま市立与野本町公民館

OPEN 8:30 - 21:30

TEL 048-853-6007

H P <https://www.city.saitama.jp/chuo/001/001/005/003/index.html>

SNS _____



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

◎主催講座の充実とサークル活動の支援を2本柱に公民館運営に努めてきた。そして今回主催講座を地域に根差し関連付けた講座を企画した。江戸時代から明治時代に最盛期を誇った「与野の市」は、4と9のつく日の六斎市として月6回開かれていた。近在近郊から集まった穀類を商人が買い取りにやってくる。そのうち穀類以外の商いも始まり、より多くの人が集まるようになった。その客を目当てに見世物師や大道芸人も集まり賑わった。円阿弥の万作踊りは、日枝神社の秋祭りを中心に豊年満作を祝い、よしず張りの舞台をかけ、歌や踊りによる民族芸能が奉納された。「坂東」の芸名を持つ人もいて、「忠臣蔵」「かっぱれ」「相撲甚句」等が上演された。大戸の神楽も盛んで中心になった「岡田社中」は出張公演も行っていた。現在神楽のお囃子は子どもたちに引き継がれている。また、かさもり（笠森）寄席として「桂一門（歌丸）」による寄席を開催していた。こうした民族・伝統芸能を今に呼び起こすべく「日本浪曲協会」に依頼した。◎保育園・小・中・高等学校との連携・交流で講座の実施。①発表の場が少ない中学校の文化部（美術部）の作品展を実施。②小学校2校の特別支援学級の作品展を実施。③隣接する保育園との共催事業で子育て支援講座の実施。④小学校1校、中学校2校で学校評議員（館長）、中学校2校からの未来くるワークと高等学校1校からインターンシップを受入れている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

伝統・民俗芸能を紹介することで、地域の歴史や伝統に誇りを持ち、地域に対する愛着を持って生活できることに繋がった。

これまでの取組全体による成果・効果

小学生や中学生の作品展は、小中学校に行く機会のない年齢層の方々に新鮮な感覚で受け入れられ、世代間交流の一助になった。

H30	・年忘れ講談 37人
	・津軽三味線立春コンサート 68人
R元	・二胡の調べ 79人
	・年忘れ落語 84人
	・ニューイヤーコンサート 67人 (箏、チェロ、ヴァイオリン)
	・伝統芸能に親しむ 「浪曲与野本町亭」 82人

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

・その場での感想や意見の集約 ・公民館運営委員会での意見集約 ・サークル代表者会議での意見集約 ・学校評議員（小学校1校、中学校2校）として直接コミュニケーションを図る。また、講座によっては学校等に直接チラシを届け意見を聞く。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

・イベント講座と地域学習講座との連携を図り、学習内容をより具体的にしたい。 ・来館者の心情を理解し期待にこたえられるものにする。高齢者学級の参加者は、70代・80代の方々も向学心に溢れお元気であるため、職員の公民館運営や講座への企画力を互いに高め、各世代に満足していただける講座にしたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

～市民に愛される公民館～

- ◎古くても きれいで使いやすい公民館
- ◎ルールとマナーを大切にされた公平で開かれた公民館
- ◎安全・安心・親切的な公民館
- ◎利用者が生きがい・健康・仲間づくりができる公民館



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・公民館で学んだ方々が、ライフワークとして取り組む学びを見つけられる公民館にしたい。
- ・市民が、常に心身の健康を維持・向上することができる公民館でありたい。
- ・地域の教育力を学校へ、学校の元気と教育力を地域へという、地域と地域、地域と学校の橋渡しをしていきたい。



花いっぱい緑あふれる庭園が自慢！

深谷市南公民館

公民館の取組概要・経過

背景

- ・ガーデニングシティを目指す市の取組
- ・砂埃多発地帯にある公民館の緑地不足
- ・公民館利用者層の偏り（20歳台～50歳台の利用が少ない）
- ・世代間交流のきっかけが乏しい

取組

- ・みなみガーデニング倶楽部による緑化活動
- ・「花の郵便屋さん」事業による世代間交流
- ・公民館まつり、体育祭による世代間交流
- ・公民館主催事業により広く参加者を集める
- ・公民館主催事業により、サークル活動を促進する

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・地域住民同士のつながりが強まった。
- ・学校の児童生徒と地域住民の間に世代間交流が生まれた。
- ・施設利用者以外にも様々な人々が訪れるようになった。

#主役は地域の方々 #花いっぱい公民館



都道府県名	埼玉県	公民館対象人口	17672人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	深谷市	建物設置年月日	平成10年10月20日	来館者利用可能P C台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 879人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 10967人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 54728人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1212人	計	67786人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 2人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	6人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書室、児童室) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (深谷市立桜ヶ丘小学校、深谷西小学校、南中学校、県立深谷高等学校、私立正智深谷高等学校、東京成徳大学深谷中学校・高等学校、みなみガーデニング倶楽部、深谷市自治会連合会南支会、深谷市南地区社会福祉協議会、深谷市南地区民生児童委員協議会、深谷市南地区老人クラブ連合)					

深谷市南公民館

OPEN 8時30分～22時00分

TEL 048-575-5550

H P なし

SNS なし



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

深谷市はガーデニングに主眼を置いたまちづくりに取り組んでおり、その一環として、南地区在住の草花を愛好する方々により、南公民館を活動拠点とする「みなみガーデニング倶楽部」が誕生しました。ガーデニング倶楽部の活動として、遊休農地を活用して花を栽培したり、緑が少なかった南公民館敷地内に花壇やロックガーデンを設営、緑のカーテンの設置、地域の遊休地を活用したコミュニティガーデンの整備などに取り組んでいます。特に公民館敷地内に設置したロックガーデンは地区内外で評判となっており、観光バスで訪れる方々がいるほどです。また、遊休農地等で栽培した花苗で作った寄せ植えの鉢を地区内のひとり暮らしの高齢者に配布する「花の郵便屋さん」事業を、民生委員、南中学校、桜ヶ丘小学校、深谷西小学校の児童生徒と協力して実施しており、児童生徒達による心のこもった手紙と丹精こめて育てられた花々が高齢者に変喜ばれています。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・地域住民同士のつながりが強まった。
- ・学校の生徒児童と地域住民との世代間交流が生まれた。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・子供から高齢者まで幅広い年代の人々が集まり、利用するようになった。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・学識者や学校、自治会関係者等15名で構成する公民館運営審議会を年3回開催。
- ・公民館の現状や課題、取組ごとの振り返りや次回への改善点等を議論、色々な意見等を踏まえながら検証、改善を実施している。
- ・地域学校協働活動に関する内容については、地域内の各学校運営協議会で行っている。（館長が委員として参加）

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

公民館事業で講座を実施し、地域住民の連携、連帯が深まるサークル活動への移行を促進しているが、持続して活動する団体がなかなか出てこない。単発の講座ではなく、半年、1年といった長い期間で魅力ある内容の講座を実施し、比較的若い年齢層の参加を促し、参加者同士の連帯感を強め、継続して活動できる団体が出てくるようにしていきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

公民館だけでは何も成し遂げられないことを認識し、地域の人々と共に考え、協働していくことが大切であると考えている。あくまで主役は地域の方々であること、公民館はサポート役に徹することで、みなみガーデニング倶楽部のように長期間持続可能な取組を生み出すことができたと思う。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

コロナ禍で公民館事業が思うように実施できないこの機会に公民館事業を精査し、必要性等をもとにスクラップ&ビルドを実施していきたい。



いいとも(良い友)サロン事業(メロディーカフェ) 松伏町多世代交流学習館

公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 建物の老朽化
- 地方創生交付金を活用した改修工事に伴い、事業、講座の見直し
- 地域コミュニティの希薄化

取組

- サロン事業による地域活性化
- 教員経験者による学校事業との連携強化
- 学習館だよりの作成
- サロンコンサートによる高校生などの若い世代の事業参加

取組による成果や効果、大切にしていること

- 上記の取り組みを通じて、以下の成果を生み出すことができた。
- 学習館利用者数が増加
 - サロン利用者の増加
 - サロン事業や講座を通して、いろいろな世代の交流が生まれた(サロンコンサート、オレンジカフェ、講座)
 - コーディネーターへの相談件数の増加



都道府県名	埼玉県	公民館対象人口	2035人	インターネット接続環境	有
市区町村名	松伏町	建物設置年月日	昭和54年4月	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 972人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 13834人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 5903人 (サロン、図書室利用者)				20709人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人	計	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 41人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)				46人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会教育委員会議)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	
	<input type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (図書室)			
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> NPO	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> その他	
松伏町社会福祉協議会、(公社)シルバー人材センター、(社福)銀杏会、特定非営利活動法人 知慧					

松伏町多世代交流学習館

OPEN 午前9時から午後9時まで

T E L 048-991-2338

H P

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

地域コミュニティの活性化を目的としてサロン事業（メロディーカフェ）を展開しています。サロン事業は、町内のやる気のある方々を集い、ボランティアとして利用者の相談や世間話により、希薄化した地域コミュニティの活性化の一翼を担っている。

また、第三土曜日は、認知症サポーターの主催で、オレンジカフェ（認知症カフェ）を実施し、認知症予防体操や、認知症などの相談業務も行っている。さらに、サロンコンサートとして埼玉県立松伏高等学校の合唱部や学習館利用サークルに依頼し、発表を通して若い方々との交流を図っている。

併せて、世代間の交流だけではなく、サロン事業の時に障がい者施設で作ったパンなどの販売を通し、障がい者の方々との交流も図っている。

また、教員経験者をコーディネーターとして配置し、学校教育事業との連携した講座の実施や学習支援、利用者や子ども達及び保護者などの相談業務も行っている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 来館者が増加(改修前17,683人、現在18,986人)
- サロン事業による高校生との世代間交流ができた。
- オレンジカフェにより、車いすの方などが利用してくれるようになった。
- コーディネーターによる学校との関連講座、事業を実施できた。

これまでの取組全体による成果・効果

- 『書初め教室』参加者で、県展入選することができた。
- 講座講師の希望者が増え、講座数を増やすことができた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

学識経験者やスポーツ協会会長、文化協会会長など12名で構成する松伏町社会教育委員会を年2回実施。教育委員会事業報告書を作成し、6月に行われる委員会で報告をしている。10月に行われる委員会では、事業、講座、施設の改善点などを協議をする。また、次年度の新規事業の提案をいただき、協議している。令和元年度は、社会教育委員から提案のあった『着付け教室』、『まつぶし音頭を踊ろう』、『スポーツ吹き矢教室』、『将棋教室』を実施している。※『将棋教室』はコロナウイルス感染拡大防止のため中止

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

色々な世代が交流をしながら学習を推進する事業がどのようなものか模索しながら事業を行っている。世代間の交流として、町内にある埼玉県立松伏高等学校の合唱部の方々にサロン事業での発表を依頼し、サロンコンサートとして実施したところ、学習館利用者、近隣住民の方々が来館し高校生との交流ができた。また、大人の講座に参加してくれた方を夏休みの子供向けの同じ講座の助手として参加してもらい、世代間の交流を図っている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

来館者には、あいさつなどの声をかけをして**コミュニティの活性化**を図っている。また、相談なども業務の一環となっているので、日ごろからの**窓口の会話などを大切**にし、相談しやすい環境づくりを心掛けている。また、事業等についても、学習館だけでは難しいが、オレンジカフェのように認知症の知識のある方の力を借りれば、実施できるものも多々ある。行政機関や**関係団体等と協力できる事業**を計画、実施するようにしている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・教員経験者であるコーディネーターを中心に、学習館と学校などとの繋がりを強化。
- ・地域住民の憩いの場として、特に若い方、サークル及び地域の方を巻き込んだ世代間交流の強化。

新型コロナ禍の中、当館は膝をつき合わせるような「三密」になる活動が多かったため講座やイベントの中止など、大きな影響を受けていますが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えつつ「つどう」「まなぶ」「むすぶ」の役割を果たすため現在、YouTubeにて「工作」や「読み聞かせ」などの動画配信を行っております。

今後は、愛称にも掲げた「メロディー」の名にふさわしい「サロンコンサート」の配信など進め、SNSの可能性を模索しつつ、活動の場を失った方への発表の場を提供して行きたい。

作って遊ぼう

糸電話



・撮影や編集は職員が行っております。
 ・松伏町PRキャラクター「マップー」を映すことで分かりやすく工夫しております。
 ・動画は、定期的に発信し3分から5分程度で飽きることなく視聴出来ます。

「古き」と「新しき」の共存

浦安市中央公民館



公民館の取組概要・経過

中央公民館は浦安で最初の公民館として、昭和39年4月に開館した。その後、昭和60年に建替えを行い、体育館を有する延床面積3,732㎡の複合的な施設となった。

令和元年度実績で年間利用者は延人数で約95,000人、利用件数は約5,800件と、市内7公民館の中で最も多く、市内の中心的な公民館として、市民の学習・交流拠点としての役割を果たしてきている。

また、昭和50年代から始めた、**市民親睦囲碁大会、市民親睦将棋大会、公民館文化祭、寿民謡学級などの高齢者を対象にした事業**は現在まで継続している。そして、これらの事業は、中央公民館の後にできた公民館が行う事業のモデルとなってきた。中央公民館では、これらの事業の他、幼児・青少年、子育て中の世代向けの事業や、現代的課題に関する学習、さらには、**ICTのような新しい分野の事業**にも取り組んでいる。

取組による成果や効果、大切にしていること

囲碁や将棋の大会、文化祭は毎年度多くの市民が参加・交流し、地域づくりにつながっています。また、高齢者対象の事業についても、高齢者の居場所づくりになるなど大きな実績を上げている。

また、ICT活用のような新たな事業も多く市民が参加し、好評を得ている。

今後も、新たな市民ニーズに応える事業や、若い世代を取り込んだり、世代間交流ができる事業の充実を図っていく。

都道府県名	千葉県	公民館対象人口	35130人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	浦安市	建物設置年月日	昭和39年5月1日	来館者利用可能P C台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 15185人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 77353人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2844人	計	95382人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	6人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 近隣自治会、社会福祉協議会支部、婦人の会、公民館利用サークル、警察、市役所他課					

浦安市中央公民館

OPEN 9:00-21:00

TEL 047-351-2638

H P www.urayasu.manabi365.net

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 地域づくりの拠点として、市民の連帯・自治意識を育む事業
昭和50年代、良好な生活環境をもつふれあいのある地域社会づくりを目指して、連帯感や市民意識の形成に役立つ事業として、市民親睦囲碁大会と市民親睦将棋大会を、そして、公民館活動の成果の発表と利用者相互のふれあいの場として公民館文化祭を始めた。令和元年度の参加実績としては、文化祭は66団体・2,931人、囲碁大会は58人、将棋大会は45人であった。公民館文化祭は、参加者に一層の達成感や連帯感・充実感が得られるように団体・サークル主導型の実行委員会形式でおこなっている。また、近隣自治会や社会福祉協議会支部、婦人の会など地域の団体と連携しながら実施しており、地域住民からも高い評価をいただいている。
- 高齢者を対象にした事業
比較的高齢者の利用が多い中で、主催事業「寿民謡学級」をはじめとした「寿かな書道」「寿ぺん習字」といった寿シリーズは、長年にわたり事業を展開しており、参加者からの評価が高く、高齢者の居場所づくりになるなど大きな実績を上げている。
- ICTのような新しい分野の事業
高齢者の利用が多い中、シニア層のICTへの興味・関心をお持ちの方が少なくないといった背景を契機に、令和元年度より「スマートフォン教室」を開催している。また、小学校におけるプログラミング授業の必修化を受け、「こどもプログラミング教室」を開催している。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

- 特徴的な取組による成果・効果
- ・文化祭は日頃の学習成果の発表などを通して利用者相互、さらには地域住民の交流の場となっている。また、囲碁大会・将棋大会では、多世代交流が図られている。
 - ・高齢者対象の事業は、長年にわたり展開しており高齢者の居場所づくりになっている。
 - ・昨年度から新規事業として始まった「スマートフォン教室」や「こどもプログラミング教室」には多くの参加をいただき、参加者の満足度も高く、新たな市民ニーズに応えることができた。
- これまでの取組全体による成果・効果
- ・市民ニーズや社会情勢に応じた事業展開を心がけて取り組み、利用者相互の交流として、また地域づくりの拠点としての役割を果たしている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

年6回開催される公民館運営審議会の意見や事業参加者のアンケート結果を踏まえて検証を行い、必要に応じて改善を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

参加者の多くは高齢者であり、子ども向け事業がいくつかあるとはいえ、参加者は多くない。そういった中で、子ども・若者層獲得に向けた事業の発信として、令和元年度は「子どもプログラミング教室」を開催した。
これからは学校との連携等を重要視し、多世代の拠り所となる環境づくりに向け努力していきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- ・地域住民のための学習拠点として、中心的な役割を果たす。
- ・多世代の方の拠り所として、人々が気軽に集うことが出来る場づくりとしての役割を心がける。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

地域住民の教育・文化の向上のための施設として、世代を超えた地域づくりの拠点として、人々や地域社会の活動を支援していく。そのためには、若い世代をはじめ、多様な世代の公民館利用を促進する仕組みづくりと取り組みが重要である。

四季折々の顔を見せる自然豊かな北部公民館

船橋市北部公民館



公民館の取組概要・経過

【背景】

本館は古い伝統が残る地域にあり、農業が中心で、豊かな自然が残る貴重な地域である。アンデルセン公園をはじめとし、市民の憩いの場となっている。市内でも高齢化率が高い地域であり、管区内の小・中学校も各1校のみで、児童数、生徒数とも減少傾向にある。

【取組概要】

- ・事業担当者会議で情報交換し、事業に関する知識の共有をはかり積極的に自館の事業内容に反映させている。
- ・館報を作成し各町会で回覧
- ・市HPの各館のページで情報発信
- ・各サークルや老人クラブが参加して年1回文化祭を開催。サークルの地域社会への参加となる大切な機会である。
- ・地域の特性を活かした事業展開を実施している。
- ・地域の方々との連携も積極的に行うよう努めている。

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- ・利用者数（利用率）が増えながら増加した
- ・好評につき恒例化した事業がある
- ・イベントをきっかけにサークルとなった事例がある

都道府県名	千葉県	公民館対象人口	6097人	インターネット接続環境	有
市区町村名	船橋市	建物設置年月日	平成27年12月22日	来館者利用可能PC台数	1台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 10318人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 28393人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 400人	計	39111人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 7人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 9人	計	16人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (出張所) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (公民館図書室と市の図書館がオンライン化しており、図書館のサービスが一部受けられる)				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 管区内連合町会、地区の社会福祉協議会、老人クラブ連合会、生涯学習コーディネーター連絡協議会、スポーツ推進協議会、船橋市北部地区菊花愛好会、				

船橋市北部公民館

OPEN 9:00~21:30

TEL 047-457-0433

H P <https://www.city.funabashi.lg.jp>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- ・各サークルや老人クラブが参加して年1回文化祭を開催。サークルは地域社会への参加となる大切な機会である。
- ・連合町会との共催で体育レクリエーション大会を開催している。表彰あり。
- ・近在の梨農家の協力を得て梨の栽培・料理にかかる事業を開催。
- ・菊愛好家の協力による菊栽培の講習及び菊の展示会（表彰あり）を開催。
- ・市所蔵美術品の展示会。周囲に美術鑑賞のできる施設が無いため、公民館で1日限定の美術展を行った。美術展に伴う鑑賞授業、ワークショップも開催した。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・好評につき恒例化している事業がある。
- ・美術展は単発の事業だったが、次年度も同様の企画が進行している。



これまでの取組全体による成果・効果

- ・微増ではあるが利用率が上昇している。

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

公民館主催の事業については、年5回開催している公民館運営審議会にて事業計画及び報告を毎回行っており、事業内容の承認を得ている。改善にかかる意見もその際に聴取し、以後の取り組みに活かすよう心掛けている。

また公民館全体として「船橋市教育振興基本計画2020」の基本方針1で生涯学習の推進を掲げており、同計画の点検・評価を行っている。

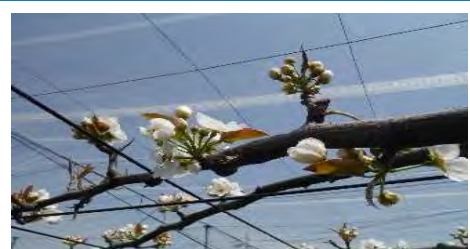
新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

利用者数（利用率）の伸びが低迷している。状況を打開するために、公民館を利用したことのない人でも参加しやすい事業の開催を試み（参加無料のコンサート、美術展など）、一度は公民館に足を運んでもらい、利用しやすい環境づくりに努めている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

地域に根付いた公民館として、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に多様な学習機会を提供し、地域の教育力の向上を図るとともに、施設の利用促進を図る。また災害時等の市民の安心・安全に寄与する施設としての管理・運営に努める。

さらに基幹館として地区館7館とともに北部ブロック全体の公民館運営についても配慮する。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

地域の方々が参加してくれるような魅力ある講座を企画するとともに、情報の発信方法にも工夫が必要と考える。まず本館の存在を知ってもらい利用率の向上につなげていきたい。また生涯学習コーディネーターの活用や民間企業を含めた地域の団体との協力や人材を活かした事業を企画していきたい。





公民館の取組概要・経過

施設の当初は、「働く婦人の家」として働く婦人及び勤労者家庭の主婦の教養の向上及び福祉の増進を目的に設置。その後、平成25年より社会教育施設となり「旭第二市民会館」に名称を改め、市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与する目的として設置変更した。

「働く婦人の家」としてスタートしていることから、市内の他の公民館等と比較し女性利用者の割合が多く、継続し利用いただけるよう講座を企画し開催している。

市主催講座については、年間を通してのものと、前期、後期に開催するもの、主に季節の行事に合わせた単発講座を開催している（単発講座の例 ゆかたの着付け、お正月料理、お正月生け花等）。

取組による成果や効果、大切にしていること

・市主催講座の開催時期を工夫することにより受講生の応募も多く28講座（令和元年度 長期・前期・後期講座数20、単発講座8）を継続して開催している。

・市主催の単発講座は季節感を重視するとともに、主に女性を対象とした内容であることから、女性の受講者の比率が多い。

#市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与すること。

都道府県名	千葉県	公民館対象人口	64989人	インターネット接続環境	有
市区町村名	旭市	建物設置年月日	昭和55年3月31日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2882人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8604人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計 11486人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計 2人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (旭市保健センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ()				

旭第二市民会館

OPEN 8:30~17:00

TEL 0479-63-8755

H P http://www.city.asahi.lg.jp/sisetu/c05_09.html

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

施設の当初は、「働く婦人の家」として働く婦人及び勤労者家庭の主婦の教養の向上及び福祉の増進を目的に設置しており、その後、平成25年より所管が教育委員会となり、「旭第二市民会館」として、市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与する目的の社会教育施設として設置変更した。「働く婦人の家」において働く婦人等を対象とした講座の開催や貸館を行っており、「旭第二市民会館」に変更ののちも、利用者に施設を利用いただけるよう、講座の内容を継続した形で実施し、市内の他の公民館等と比較し女性利用者の割合が多くなっている。なお「働く婦人の家」の開館は月曜から土曜日であったが、「第二市民会館」変更以降は、火曜から日曜日となり、日曜日の利用が可能となっている。

市主催講座については、年間を通してのものと、前期、後期に開催するもの、主に季節の行事に合わせた単発講座を開催している（単発講座の例 ゆかたの着付け、お正月料理、お正月生け花等）。

第二市民会館「正月向け講座」受講生募集

正月向け講座の受講生を募集します。
日本のお正月を楽しみましょう！

和紙人形の干支作り

日時/12月11日(水) 午後1時30分～3時30分
定員/15人(一般成人)
費用/1,000円(材料費)

お正月料理

日時/12月11日
定員/15人(一般成人)
費用/1,000円

お正月用生け花

日時/12月26日(木) 午後6時30分～8時30分
定員/15人(一般成人)
費用/2,000円(材料費)

(共通事項)

- 材料費を添;
- 申込み順に;
- 場所・申込;

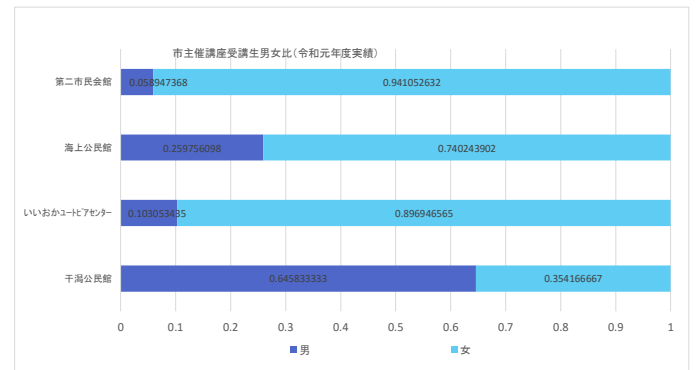
公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

特徴的な取組による成果・効果

- ・市主催講座の開催時期を工夫することにより受講生の応募も多く20講座を開催
- ・市主催の単発講座は季節感を重視し、主に女性を対象としていることから、女性の受講者の比率が多い。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・市内の他の公民館等と比較し女性利用者の割合が多い。
- ・これまでの実績から多くの受講生が集まり、市主催講座（令和元年度 長期、前期、後期講座数20、単発講座8）を継続して開催できている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・次年度開催講座の企画会議を開催。市主催講座の応募状況により、応募者数が少なければ講座の内容を見直す、または中止（ただし講師の希望により実施の場合あり）し別講座の企画を行っている。
- ・公民館運営審議会を年2回開催し実績報告及び次年度計画について審議会に諮っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・市主催講座の応募の際に申し込みが少ない場合に、すぐに中止するのではなく講師に開催の希望の有無を確認したうえで判断している。少人数でも、講座受講を希望されている市民がいれば対応するようにしている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

- ・市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与すること。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

これまでの実績を活かし、引き続き多くの市民にご利用いただきたい。
また、本施設は建築後40年程経過しており、トイレの数が少ない、空調の無い部屋があることや、老朽化により利用しやすい施設ではないため、市民により安全で快適にご利用いただけるよう、施設の改修方法について検討している。



気軽に立ち寄れるアットホームな公民館

平塚市立松原公民館

公民館の取組概要・経過

背景

地区住民に元気なシニアは多いが、子どもが少ない
地域団体や地域の方の絆が強く、連携がとりやすい

取組

子どもからシニアまで誰もが立ち寄る公民館にするため、地域ぐるみで取り組めることに力を入れている。
☆公民館内の談話室を予約がなくても誰でも使えるよう開放
☆小中学生、公民館団体によるコンサート開催で多世代交流
☆「湘南ひらつか七夕まつり」で七夕飾りを、公民館・小学校・地域団体・企業・地域の方の協力のもと出品し、地域竹飾りの部で現在4連覇中、地域が盛り上がっている
☆地域から寄付いただいた鯉のぼりや凧、のぼり旗を公民館の外に飾り、地区の多くの人が目にして気軽に来館できる雰囲気作り

取組による成果や効果、大切にしていること

☆さまざまなイベントを協力して行うことで、イベントの成功と共に地域の一体化が増した。
☆幅広い年齢層の地域住民に公民館が利用されるようになった。
☆地域との関係が強化されたことで、次に行われるイベントの質が良くなったり、新たな地域活動が生まれたりと、地域に還元できることが増えた。

公民館に集う # 世代間交流 # 次につながる



都道府県名	神奈川県	公民館対象人口	8418人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	平塚市	建物設置年月日	昭和36年4月3日	来館者利用可能 P C 台数		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 958人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 19227人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1600人	計	21785人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	3人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (駅に近いが静かな環境。七夕飾りや鯉のぼりなど利用者の協力による季節の飾り付け。)					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (平塚市立松原小学校、平塚市立江陽中学校、NPO法人暮らし・つながる森里川海、自治会連合会、老人クラブ連合会、婦人会、体育振興会、青少年指導員、社会福祉協議会、町内福祉村、民生委員、児童委員協議会、小中学校PTA、平塚市、地域の病院、防犯協会、交通安全協会他)					

平塚市立松原公民館

OPEN 9:00~22:00 HP http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gakushu/page-c_01850.html

T E L 0463-21-6186 SNS





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

○談話室の開放

地域の方を中心に誰もが集える公民館でありたいという思いで、談話室を自由に利用できる部屋として開放している。各世代が話をしたり、子どもたちが交流できるようにしたり、高齢者が休憩したりと幅広い世代で公民館を利用していただいている。

○ニューイヤーコンサート

地域の江陽中学校吹奏楽部、松原小学校児童の合唱グループ、公民館利用団体により、年始にコンサートを開催。各世代で交流ができ公民館との関係が出来ることで、地域には公民館があると知っていただく機会となり、また利用したいと思える公民館となっている。普段はシニアの利用が多いが、この事業が小・中学生の家族が多く見に来ることで、普段利用のない年代の人たちに公民館を知っていただき、興味を持ってもらうきっかけにもなっている。

○七夕飾り作成

地域全体で七夕飾りを作成。小学校、地域の団体や個人の方、企業などの協力を得て作成した飾りは、七夕飾りコンクールで4連覇中。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 地域の一体化
- 団体間、運営委員等の連携強化
- 協力体制の強化
- 世代間交流の増加

これまでの取組全体による成果・効果

- 連携、協力体制等の強化により質の良い事業が多く開催できるようになった。
- 校外学習の場に公民館が選ばれたり、小学校3・4年生の学習教材に掲載されたり、公民館の活動を知っていただくことができた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 各事業ごとに学習報告書を作成し、記録に残すことで来年の参考にししたり、事業の反省と新しい事業企画の糧としたりしている。また、参加者の声を拾い、地域情報局により多くの方に実施状況を知っていただく。
- 公民館運営委員会を年6回開催し情報を共有することで、公民館のことだけではなく地域全体について様々なことを検討している。
- 主要な団体の長と有識者が集うクイントット会議を年4回開催し、単独団体でできないことなどを連携して可能になるようにしている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 親子が参加する事業等について、これまで可能だった休日の先生方の参加が、先生方の働き方改革や休日の勤務ができないことなどから難しくなりました。これにより事業の検討や小学校との連携について協議をしていく必要がある。
- 公民館運営委員に校長先生がいるので各団体に協力いただき検討していく。またクイントット会議のメンバーに子ども会会長がいるので連携をして乗り切りたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

登録団体の活動だけでなく**多くの世代**に公民館を利用いただくとともに、**地域に必要とされる**公民館であることが重要だと考えている。子どもたちに公民館を知っていただくことで、父母、祖父母と公民館に来館されたり、利用していただけたりするきっかけになると感じることから、図書などを自由に読んだり借りたりできる談話室を誰でもが気軽に利用できる部屋として開放している。小学校の課外学習の場としても積極的に利用いただいている。公民館として、**一つの出来事が次につながる、地域の方との連携**になると考えている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

公民館という位置づけの施設が減少し、コミュニティセンターのような複合施設が多くなる中、小学校区に1館の公民館がある特色を生かし地域に貢献していきたいと考えています。公民館をご利用いただくことは変わりませんが、これまで以上に、情報発信の場であり、地域の事業等に協力・参加して地域が活性化していく拠点にしていきたいです。

現在、「松原地区あいさつ運動」を展開しており、公民館にのぼり旗を設置したり、館長・主事も登校中の子どもたちをあいさつで見送ったりすることで、公民館と地域が、顔の見える関係、声を掛け合う関係、お互いが気に掛ける関係、困ったときにちょっと手助けできる関係、異変に気付く関係になるきっかけとしていきたい。



地区住民の出会いと活動、生きがいを創る

厚木市立緑ヶ丘公民館



公民館の取組概要・経過

- 1 厚木市立緑ヶ丘公民館がエリアとしている緑ヶ丘地区は、厚木市内でも高齢化率が高い地域であるが、近年は戸建ての新しい住宅も増えている。そのような中、世代間交流を大切にする事業や伝統行事を伝承する行事等を行っている。
- 2 緑ヶ丘地区住民の郷土意識の高揚と住民相互のふれあいを深め、心のよりどころとしての「ふるさとづくり」を推進することを目的に、毎年8月に緑ヶ丘地区自治会連絡協議会が中心となり、地域福祉推進委員会や子ども会育成連絡会などの様々な地区役員が運営に携わり、「ふるさと祭り」を実施している。
- 3 犯罪が起りにくい街づくりのため、毎月27日の「交番の日」に合わせ、地区内を見回り防犯に対する呼びかけや、チラシの配布などを行っている。

取組による成果や効果、大切にしていること

- 1 「3世代ふれあい交流会」を通じて世代間交流が図られている。
- 2 「ふるさと祭り」を通じて、地域のコミュニティの推進と心のよりどころとしての「ふるさとづくり」が図られている。
- 3 防犯意識の高揚を図るため、毎月27日の「交番の日」に地区内を見回り、防犯に対する呼びかけや、チラシの配布などを行う事により、防犯意識の高揚が図られている。

都道府県名	神奈川県	公民館対象人口	3695人	インターネット接続環境	有
市区町村名	厚木市	建物設置年月日	平成7年10月31日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 493人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 11834人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 40276人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計 52603人 (ふるさと祭り、公民館まつり他)		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計 6人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (児童館) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他				

厚木市立緑ヶ丘公民館

OPEN 8:30~17:15(貸館は9:00~22:00)

T E L 046-225-2561

H P <https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

厚木市立緑ヶ丘公民館は厚木市緑ヶ丘地区（緑ヶ丘1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、奥原地区、王子2丁目、王子3丁目）をエリアとした、市内でも比較的新しい地区ですが、高齢化率が高いのが問題となっている。

住民相互の交流は活発であるものの、核家族化が進むにつれて、子供と大人、高齢者の交流する場が少なくなってきた。

そのような中において、地域コミュニティの推進と郷土意識を大切にすることが重要であると考え、「緑ヶ丘をふるさと」とする「ふるさと祭り」や地域活性化を図るため、世代を超えた交流事業として「3世代ふれあい交流会」などに取り組んでいる。

また、古くから伝わる伝統的な行事を風化させず、伝承していくため、「しめ縄づくり教室」や「書初め教室」などを実施している。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

・ 人と人とのつながりを大切にしながら取組を進めている。同年代がつながる横の交流はもとより、3世代交流事業のような、世代間交流による縦のつながりなども意識しているため、地域住民が家族のような距離の近い関係を保っており、「ふるさと祭り」のような地域が一体となったイベントも実現できている。このことから、世代間交流が図られ、この地をふるさとと思う住民が多くなってきた。

これまでの取組全体による成果・効果

・ 地区住民がお互い近い関係にあることから、顔の見える近所付き合いができるとともに、各種事業、お祭り、防犯パトロール等を地域が一体となって実施していることから、地区の防犯に役立っている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

公民館運営委員会は、公民館関係団体と利用団体の代表12人で組織され、年3回会議を行っている。会議の中では、年間の計画や報告を行っており、常に委員と意見を交わしながら事業を実施している。また、学級講座等実施の際にアンケートを行い、事業について評価をいただくとともに、新たなニーズなども把握している。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

パトロールや防犯講座のような継続的に実施し効果を表す取組と健康体操、フラワーアレンジ教室のような常に市民ニーズを考えて時代とともに変化させて行う取組があると考え。継続的に実施する取組は、マンネリ化しやすいため、少しずつ変化を入れながら実施しているが、地域住民も必要性を十分理解していただくことも必要であると考え。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

公民館は、地域拠点としての機能のほか、地域コミュニティの中心的な機能も兼ねている非常に重要な施設であると考えている。時には市民の交流の場として、時には市役所機能の一部を賄い、時には地域防災・防犯の中心となるような、さまざまな機能を担っている。

そのような中、公民館は常に地域に寄り添い、耳を傾け、地域のことを考えることがとても大切で重要なことと考えている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

公民館として与えられた業務を着実にこなすことは基より、地域に親しまれる、地域に根差した公民館でありたい。

地区住民が何を求めているのか、各種団体や学級講座等様々な機会を見つけ直接話を聞くことにより、公民館が進む道が導き出されると考える。

また、公民館は地区住民の相談役になれればと考える。何でも話せる、何でも相談できる、「公民館に行ってみよう」と気軽にいける場になりたいと考える。



新しいことをしてみたい。仲間を増やしたい。

小矢部市立松沢公民館

公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 公民館来館者減少
(利用者が一部に限られる)
- 子ども達の公民館離れ

取組

- 館報「公民館より」を毎月発行する。各種行事を紹介し、全戸配布を開始する。
- 子どもが参加できる三世代交流行事を企画・運営する。
- Twitterを活用し、活動を配信する。

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 公民館来館者数が増加する。
- 子ども達の行事を実施することで、住民同士のつながりが強くなり、子育てに関するグループが生まれる。



都道府県名	富山県	公民館対象人口	2871人	インターネット接続環境	有
市区町村名	小矢部市	建物設置年月日	昭和59年3月	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 4099人 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6300人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計	10399人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	3人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (建物本体はポストン公会堂、塔屋はロンドンのセントポール寺院を模した、メルヘン建築である)				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO				
	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他				
	振興会、松寿会 (老人クラブ)、児童クラブ、体育協会、社会福祉協議会				

小矢部市立松沢公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 0766-67-0007

H P <https://www2.tkc.pref.foyama.jp/kouminkan/info/sv/0rgDtl.aspx?orgcd=0915&stdycd=C0000539>

SNS [Twitter@matsuzawaphall1](https://twitter.com/matsuzawaphall1)





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 子供たちが、かつては地域の主要産業であったお米作りについて、手作業での田植えから収穫までを体験することで、自然への親しみや、収穫の喜び、食を大切にすることを育んでいる。
- 子供たちは田圃を通じた自然体験のなかで、かつての農作業を体験し、お米作りの大変さ、収穫したものへの感謝の心を培う機会をつくっている。
- 各作業の中で地域の方々と交流することで、「おはぎ」や稲わらを使った「しめ縄」など、ふるさとの文化を体験する機会をつくっている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 公民館来館者数が増加した。
- 公民館活動を通じてできた住民同士のつながりが生まれ、お互いの顔が分かり、公民館行事に持続して参加するようになった。

これまでの取組全体による成果・効果

- 子供から大人までの世代間交流が進むとともに、住みよいまちとして、まちの魅力が高まり、子育て世帯数は市内の中でも多い地区となる。（令和元年度10世帯増、人口減少率0.4%）

	H30	R1
地区人口	2,884	2,871
地区世帯数	1,039	1,049
市人口	30,161	29,850
市世帯数	10,385	10,493
来館者数	10,171	10,399

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 学識経験者や自治会関係者等23名で構成する公民館運営審議会を年間12回開催している。
- 公民館の現状や課題、取組ごとの振り返りや次回への改善点等を議論、多様な意見等を踏まえながら検証・改善を行っており、PDCAを意識し、公民館主催の実施講座や教室の内容は年度毎に新たな企画で実施している。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 一部の限られた者だけが活動を行っている状況であり、人材不足が深刻である。公民館を知ってもらうことが必要と考え、平成26年度から館報「公民館より」を毎月発行し、全戸配布を開始する。また、Twitterを活用し、様々な活動を配信している。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 公民館だけでは難しいことも、地区の関係団体等を巻き込みながら、連携協働する道を探ることが大切だと考えている。
- 日頃から自治振興会や社会福祉協議会と、高齢者の見守りや子どもたちの見守りなどを協働し、いざという時に互いが助け合うことのできる関係性、ネットワークの構築が大切である。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

公民館は、立場や世代、職種を超えて集い、地域の拠点として、お互いの顔がわかり、寄り添える場所としていきたい。

毎月館報を発行しているが、これからは定期的なSNSの配信についても取り組んでいきたい。



みんなで創る「おせっかいなまちづくり」

黒部市立若栗公民館

公民館の取組概要・経過

ぼくも・わたしも・おらも・わても 誰もが来やすい公民館を目指している。以前は「高齢者の趣味・サークルのたまり場」というイメージが定着し、利用が一部の人たちに限られていて、活性化していなかった。このことを地域の課題としてとらえ、公民館が中心となり、各種団体や多様な世代の人々に呼びかけ話し合い「学ぶ」「集う」「結ぶ」を目標に豊かなつながりや学び合いが生まれている。

取組による成果や効果、大切にしていること

何より「宝」は住民の組織力。行事にやる気を持って参加する住民が多い。先人が築き上げた組織を十分に生かし、各種団体との連携により、地域に根差した活動を大切にしている。



都道府県名	富山県	公民館対象人口	2121人	インターネット接続環境	有
市区町村名	黒部市	建物設置年月日	平成21年12月6日	来館者利用可能P C台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 191人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 14836人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人 計 15684人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 657人 ()				
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 計 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 放課後子ども教室実行委員会、J A 黒部女性部、N P O 法人松桜閣保勝会、黒部市				

黒部市若栗公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 0765-54-0225

H P <https://www2.tkc.pref.toyama.jp/kouminkan/info/svOrgDtl.aspx?orgcd=1754&stdycd=C0001278>

SNS

特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。



1 介護1にならないぞ！

団塊の世代の高齢化率が高くなり、地域の中にも一人暮らしの高齢者が増えている。週に1回、公民館に集い、健康チェック、体操、ものづくり、歌教室などをすることで少しでも介護度が進まない取り組みをしている。会の運営は、ボランティアグループ「サロンひまわり」が行っている。

2 ぼくもわたしも一人できる！（食を通して、生きるを伝える）

共働き家庭が増え、料理を学ぶ機会が減っている。そこで、年長児の料理教室「名水キッズ料理教室」を年2回開く。また、小学高学年の料理教室を家庭科の学習と合わせて行う。子供たち全員が全ての作業を行い、自立の力をつける。教室の運営は、ボランティアグループ「きっちゃんわがわり」が行っている。

3 「レッツゴーグリーン若栗」大作戦！

汚れが目立っていた黒瀬川をきれいにしようと、ヤマメの稚魚の放流をしている。生態の学習や、竹竿を使った仕掛けづくり、ヤマメ釣りという一連の活動を通しての環境保全への気持ちを育てた。この活動は、年に一度の住民（約500名参加）による一斉ゴミ拾いにつなげた。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

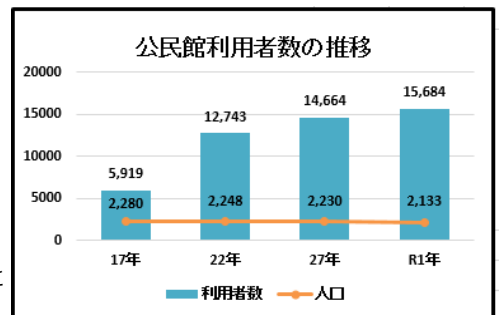
特徴的な取組による成果・効果

- ・「サロンひまわり」の活動は、5年目を迎え、参加人数も増え、楽しみにしている人が多い。
- ・「料理教室」は、3年目を迎え、食への関心が高まり、家庭でお手伝いする子が増えた。
- ・ヤマメを通じた活動では、38年を経て、黒瀬川はきれいになり、ポイ捨てなどのゴミも減るなど環境保全への関心が広まりを見せている。

これまでの取組全体による成果・効果

様々な活動や事業により、公民館来館者数が10年前と比べ、人口が減っているにもかかわらず約3千人増加している。

公民館でのつながりで、子供から高齢者を広く知ることができ、地域全体でサポート体制がとれる「若栗助け合いネットワーク」も立ち上がった。これは、困っている家庭をなくすことが目的だ。自分達の町は、自分達で守るという自覚もできた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・学識者や自治関係者12名で構成する「公民館運営審議会」を年6回開催する。また、月1回各地区代表者で構成する「評議員会」で公民館の課題・改善点を話し合う。小・中学校活動に関する内容については、「学校運営評議員会」に館長が参加している。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・「キッズ料理教室」では、子供たち一人一人が体験できるようにするため子供用の人数分の料理道具セットが必要になった。しかし、公民館運営に関する予算が減少していたため、市の協働事業に応募し、採用され、実現することができた。
- ・「サロンひまわり」の活動に歩いて来れない人がいた。足の確保の検討を重ね、自治振興会所有のパトロール車での送迎を始めたところ、参加者が増えた。
- ・黒瀬川は、なかなかきれいにならなかったが、ヤマメの稚魚放流等を通じて、保育所や小学生にきれいな川の大切さを教えつづけ、その事が大人にも伝わって町全体がきれいになった。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- ・**対象をしぼる事なく、住民全ての為にある公民館**を目指していく。これまでも地域の「おせっかい」な人達の力を生かし、幅広い世代に「**公民館に来て楽しかった**」と言ってもらえる事業を展開してきた。様々な出会いを構築する事で、互に関わり合い、自己肯定感、自己有用感を感じながら暮らしていける、「**おせっかいだけであつたかい町づくり**」という考えを大切にしていきたい。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・コロナ禍の中で3密を避けて事業を拡大する必要がある。その時々々の情勢に合わせて、何が出来るか知恵を絞る。この夏は夏休みのラジオ体操が中止となった事から、「ラジオ体操の町若栗を目指そう」と呼びかけ、各家庭で取り組んでもらった。また、盆踊りが中止となり、その予算と地域で募金を募って花火を打ち上げ、各家庭で鑑賞した。この希望をのせた花火のような役割を担う公民館にしていきたいと考える。



世代を超えた交流による持続可能な地域づくり

白山市立吉野谷公民館



公民館の取組概要・経過

(きっかけ)

- 平成17年に1市、2町、5村が合併して、白山麓から沿岸部までの広域の白山市が誕生
- 吉野谷地区は白山麓の山間に有り、少子高齢化が進行(取組)
- 豊かな自然を活かした「溪流体験」や「ノルディックウォーキング」などを実施
- 地域の子供達を大切にするため「はっする土曜日＆お出かけはっする」で灯ろう作りや野焼体験を実施
- おでかけはっするin金城大学看護学部 (H29～) 市内にある大学と連携し、健康づくりについて考える取組を実施
- 他の団体と連携し子どもからお年寄りまでが元気に過ごせるよう楽しい取組を実施

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 子どもから高齢者まで、世代を超えた幅広い交流とつながり
- 健康づくりの意識の高まり
- 住民の学びの場の提供
- 地域課題解決に向け、他団体との連携強化
- # 地域課題解決 # 世代を超えた交流
- # 学びの場の提供 # つながり # 持続可能な

都道府県名	石川県	公民館対象人口	934人	インターネット接続環境	
市区町村名	白山市	建物設置年月日	平成3年2月27日	来館者利用可能PC台数	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 736人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 596人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 300人	計 1632人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計 3人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (吉野谷市民サービスセンター、大門温泉センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (金城大学看護学部 吉野谷地区社会福祉協議会、老人クラブ、スポーツ推進委員、吉野谷児童館、白嶺っ子クラブ(学童) 女性の会、子ども会、白山市体協吉野谷支部、文化協会)				

白山市立吉野谷公民館

OPEN 8:30~17:15

TEL 076-255-5146

HP

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

●おでかけはっするin金城大学看護学部

平成29年に金城大学の教員と学生が、白山麓に暮らす人々の健康を支えるために「やまの保健室」を始めた。（住民に病気の予防について学習や専門家への相談の場の提供、血圧測定等）住民への浸透を図るために公民館が核となり、公民館で活動するサークルとの連絡調整を行い、大学と住民をつなぐ役割を果たした。

また、住民により周知を図るために地区の文化祭で「やまの保健室」コーナーを設け、住民に実際に体験してもらった。

さらに、大学との交流を深め、住民に健康への意識をより高めてもらうために、夏休みに小中学生と高齢者グループが、大学を訪問し、健康について学んだり看護体験を行ったりした。



●各団体との連携による取組

- ・児童館と連携し、地域の自然環境を生かした「四季を楽しむ お楽しみ会」を実施
- ・市スポーツ推進員協力による「キッズスポーツ」を実施
- ・社会福祉協議会と連携し「さわやかウォーキング」を実施

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・世代や団体を超えて交流が図られ、地域住民のつながりづくりに役立っている。
- ・地域住民の健康づくりに対する関心が高まってきている。
- ・地域課題である高齢化に対応し、高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながっている。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・地域の自然環境を生かした取組により、住民の地域に対する理解や愛着が深まっている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・公民館運営審議会で事業報告を行い、課題を改善しながら事業計画を立てている。
- ・子ども対象の事業は、児童館、学校、子ども会、学童クラブと連携し、開催している。
- ・高齢者対象事業は、地区社会福祉協議会、老人クラブ連合会と連携し、企画・運営を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

・大学への訪問は、参加人数に限りがあり、これからより地域に活動を根ざしていくために、文化祭で開催している「やまの保健室」を、充実させていくことが必要であると考えている。そのために、大学と更に連携を深め意見交流を図り、新事業の企画も考えていきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

山紫水明と変わらぬ素敵な自然の地域資源を活用しながら心身ともに健やかに人々が暮らせるよう・**生かす（健やか）** ・**活かす（資源）** ・**イカス（素敵）** をモットーに人も地域も潤い、豊かな自然を活用した事業展開を目指しています。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

・これからますます少子高齢化が進み人口減少も心配されますが、常にチャレンジすることを忘れず地域の身近な公民館として世代を超え、より多くの皆さんに利用していただけるように心がけていきたいと思います。



地域課題解決に向けたつながりづくりの取組

津幡町条南公民館



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 宅地造成による人口の急増
- 新旧住民の融和の必要性
- 高齢化の進行による事業への参加者の減少
- 子どもの体験活動の必要性

取組

- 学習を通じた仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり
- 高齢者向けの「いきいき健康教室」、「熟年大学講座」の開催
- 住民の交流を図るためスポーツ大会の実施
- サークル活動の発表会を実施し、活動意欲の向上・住民の交流を図る
- 子ども向け「昔遊び」「科学工作教室」等の実施

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 日常のサークル活動の意欲の向上
- 健康づくりの意識の高まり
- 新旧地域住民の交流の機会の確保
- 子ども達の体験活動を通じた学びの機会の確保

地域づくり # つながりづくり

学びの場の提供 # 体験活動 # 地域素材

都道府県名	石川県	公民館対象人口	12883人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	津幡町	建物設置年月日	平成15年2月28日	来館者利用可能PC台数	無	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 997人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 16014人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 5704人	計	22715人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	2人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (中条地区協力金)					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学童保育)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (河北中央病院、石川工業高等専門学校)					

津幡町条南公民館

OPEN 9:00~21:30

TEL 076-288-3115

H P http://www.town.tsubata.ishikawa.jp/shisetsu/jyounan_c/index.htm

SNS 無



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

●住民の交流を図る「サークル発表会」の実施

新興住宅地として人口が増え続ける中、新旧住民の融和が大きな課題であり、サークル活動を通して子どもから大人まで幅広い年代の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり等の充実を図り、地域の垣根を越えて、誰もが気軽に利用できるコミュニティづくりを目指している。そこで、公民館サークルの活動の成果の発表の場を設けた。多くの方に見てもらえるように津幡町文化会館を使用し、チラシの配布やポスターの掲示を発表者自ら行った。

●住民の健康づくりと交流を図る「熟年大学講座」「いきいき健康教室」の開催

高齢者を対象にした熟年大学講座では、ラフターヨガや陶芸教室、地元の病院の出前講座等を実施した。また、全ての住民を対象に、椅子ヨガ、「脳」活性化体操等を実施し、健康づくりを図りながら住民が交流できる場を提供した。

●子どもの体験活動を大切に「放課後子ども教室」の開催

体験活動を通して、子ども達に学びの機会を提供するために昔遊びやクッキング、科学工作教室等を開催した。

●地域素材を生かした取組

「味噌づくり教室」を開催し、地元産の大豆と米こじを使い、味噌の伝統的な作り方を学んだ。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 発表会を目標にしたため、サークル会員のモチベーションが向上してきた。
- 町住民全体を対象に発表することで、サークル会員の一体感が培われてきた。
- 各サークル同士の交流が深まり、住民のつながりが生まれてきた。

これまでの取組全体による成果・効果

- 学びの場の提供だけでなく、学んだことをアウトプットする場を設定したことで、学びと活動の好循環が生まれ、住民の意欲的な活動につながっている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

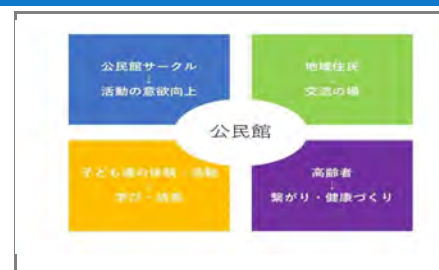
- 公民館対象の6地区より選出した公民館委員による事業評価会を年1回実施している。
- 公民館委員会会議にて意見交換を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ステージ発表ができないようなサークルに対しても、発表会にかかわってもらえるように、今後、体験コーナー等を設け、より多くの住民がかかわる事業にしていきたい。
- 公民館の「いつでも・だれでも・どこでも」学ぶことができ、学びの成果を発揮できる場を設け、学びの循環を意識した地域づくりを進めていきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 定期的に利用する公民館サークルのが意欲的に活動し、**学び・集う場**の提供
- 新旧地域住民の交流**の場所の一つとして、身近で気軽に利用できる雰囲気づくりと施設の提供
- 公民館事業において子ども達の体験や活動を通して、個人やグループでの**学び・成長の機会**を提供
- 高齢者同士のつながりを作るきっかけとして、また、健康寿命を延ばす足掛かりとして**健康づくり**の講座の維持



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 新旧地域住民、高齢者や子ども達の交流の拠点にしたい
- 身近に感じてもらえる地域の公民館として、「集う・学ぶ・つながる」場の提供ときっかけ作り
- 地域からの意見や要望などを反映した公民館運営



ふれあいを大切に 郷土愛あふれる 穴山公民館

韮崎市穴山公民館



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 若年層・青年層の公民館離れ
- 穴山ふれあいホール（穴山公民館）の建設を機に都市間交流を目的に事業を展開する穴山町ふれあいホール運営協議会を発足

取組

- 子どもから高齢者・福祉施設入所者等が集う「生涯学習推進の集い・福祉と文化祭り」
- 都市間交流、他団体との交流から生まれ東日本大震災の復興支援にもなった「穴山町サンマ祭り」、「縄文プロジェクト」
- 穴山町出身で童謡「たなばたさま」等の作詞家「権藤はなよ」の功績を讃える「穴山町たなばた祭り」
- 穴山町の情報を集めた「穴山町だより」を通じイベント等の情報を発信

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取り組みを通じ以下の成果を生み出すことが出来た。

- 舞台発表や作品展示を通じ住民の交流が盛んになり、子どもから高齢者、障がい者施設、高齢者施設、生活支援施設から招待した人たちが集い世代間交流をはじめ、多様な社会、共生の意識を持つことができた
- 都市間交流が盛んになることで穴山地区以外の地域の情報に触れることが出来た
- 地域の歴史や文化を認識し郷土愛が生まれた。

都市交流 # 世代間交流 # 郷土愛

都道府県名	山梨県	公民館対象人口	1349人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	韮崎市	建物設置年月日	平成21年1月26日	来館者利用可能PC台数		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 320人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 5286人 (地区の会合、イベント時の炊き出し)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1309人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1614人	計	8529人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	2人	
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (穴山ふれあいホール (穴山公民館)) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (県内木材を使用した温かみのある建物)					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (韮崎北東小学校、韮崎市立たんぼほ保育園、社会福祉法人信和会穴山の里・穴山の杜、NPO法人日本国際ボランティアセンター、NPO法人河原部社、山梨英和中学・高等学校、Caféおちゃのじかん、気仙沼市、韮崎市観光協会、緑と大地の会)					

韮崎市穴山公民館

OPEN 不定 (使用時に主事に連絡)

TEL 0551-25-5956

HP

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●生涯学習推進による世代間交流

韮崎市では昭和56年に「生涯学習都市宣言」を行っており、市内11地区公民館では町民による舞台発表や作品展示など日頃の生涯学習の発表の場として「生涯学習推進の集い」が各町の一大イベントとして執り行われている。穴山町ではそれに加え社会福祉協議会と連携し「福祉と文化祭り」を同時開催として「穴山町生涯学習推進の集い、福祉と文化祭り」という名称で子どもから高齢者・障がい者施設、高齢者施設、生活支援施設から招待した人達で文化芸術を楽しむイベントとして開催しています。町民が一堂に会し時間を共有する事で交流、親睦が深まり世代間の交流も図られている。



●他団体との交流事業

国際ボランティアセンターの理事の一人が地元出身という縁から始まった「穴山町サンマ祭り」は東日本大震災の現状を学習する機会や気仙沼市との交流・復興支援と被災地の近況を知り、一人一人が出来る事を考える機会を創出した。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・生涯学習への意欲や向上、地域に伝わる伝統芸能への認知
- ・世代間交流の深まり
- ・地域間交流を通じ地域内だけではなく広く他地域の現状を知ることが出来きた
- ・他団体と連携、交流することで新たな発見、気づきを得る事ができる



これまでの取組全体による成果・効果

- ・世代間交流が深まり他地域への興味が沸いたことでイベントへの参加や運営に意欲が高まり年々イベントの質が上がってきている

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

公民館運営審議会が年2回開催される他、イベントでは実行員会を設けて行っているものもあるので終了後に反省会を行ったり、「穴山町だより」にもイベントの報告を載せ広く町民からの意見や評価を頂いており次回に反映するよう努めている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 若年層・青年層の事業への参加を促すのが大変である。幅広い世代の住民に参加してもらうため講演・公演以外に魅力あるイベントにするため情報収集や研修に努め、町民以外にも広く呼び掛けるため市広報をはじめ、地域新聞や情報誌に地域情報を提供し取材や情報を掲載して頂き広く発信を図った。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

集う事で相互に顔が見えるふれあいを大切に、町民の絆・連帯感を深め、日常の活力や非常時の備えに繋げる。

地域の歴史や文化、偉人、環境について学び、良さを認識することで郷土愛を育む。

様々な縁を大切に、幅広い事業を展開することで町民の視野を広め、相互のふれあい・連携を大切にして、郷土愛を育む。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

毎回、時勢や住民のニーズに応じた事業の開催は好評を得ており地区やサークルの舞台発表や作品展示も内容、質、数量も増えており見ごたえのあるものになっていると評価を受けている。今後も、幅広い世代の住民が集う魅力ある事業として常に情報収集に努め、郷土愛溢れるまちづくりに貢献していきたい。



人々のつながりと主体的活動のお手伝い



小諸市公民館

公民館の取組概要・経過

きっかけ

- ◆利用者の固定化（特に男性の参加が少ない）
- ◆利用団体・サークルの高齢化
- ◆住民の公民館活動への関心が薄い（特に若年層）

取組み

- ◆小中学生対象講座や親子体験講座の充実
- ◆他団体・外部機関との連携強化、共催事業の開催
- ◆複合施設(文化センター)の利点の活用
- ◆広報・情報発信強化

HP充実、Youtube配信、リモート講座

公民館報(毎月発行)、館報編集委員による取材・編集

- ◆支館・分館事業への支援・連携

住民の主体的な学習や活動の促進を支援

取組による成果や効果、大切にしていること

成果

- ◆子どもや親子など幅広い年齢層の参加者が増加
 - ◆外部機関や他部局との連携により、それぞれのノウハウを生かした特色ある講座の開設
 - ◆主体的な取組み 館報編集・イベント開催において多様な立場の方の活躍。モデル事業による支援により、支館・分館での意識向上と主体的な活動を促進
- # 主体性・協働

都道府県名	長野県	公民館対象人口	41980人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	小諸市	建物設置年月日	1985.4.22	来館者利用可能PC台数	16台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1019人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 29263人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 800人	計	31082人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人	計	8人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (文化会館、女性の家、体育館) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (総称「小諸市文化センター」乙女湖公園内に設置されている)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (市内小中学校、社会福祉協議会、八十二文化財団、文化協会、女性団体連絡協議会、公民館施設登録団体、市教育委員会、市他部局、市文化会館、市女性の家、安藤百福センター)					

小諸市公民館

OPEN 9:00

TEL 0267-23-8880

HP <https://www.city.komoro.lg.jp/soshikikarasagasu/bunkacenter>

SNS 小諸市公式チャンネル



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

◆幅広い年齢層の参加を促進する工夫と環境整備

公民館活動への参加者や公民館利用者の高齢化・固定化が一層進んでいるが、より多くの幅広い年齢層の住民の参加促進を図り、人々のつながりや主体的な学習を増進する。そのために、複合施設の利点を活かすとともに他団体・外部機関等との連携を強化し、小中学生対象講座・親子体験講座・働く女性対象講座などを新設・充実させ多様なニーズに応える。

◆公民館活動への主体的な参加

公民館まつり企画推進部会の新設や公民館運営審議委員・運営委員の公募など、公民館活動の企画運営に多様な立場の住民に関わってもらえるよう工夫する。また、役員や事務局だけでなく利用団体・サークルも加わっての実行委員会組織づくりや、子どもボランティア参加など各イベントがみんなで作ったものになるよう工夫する。 ◆住民の主体的な学習・活動を促進するよう支館・分館事業をモデル事業として指定し支援する。

◆編集委員(各地区から選出)が取材・編集している毎月発行の公民館報やケーブルテレビ・HP・SNSを活用して情報を発信する。また、Youtubeの活用やリモートでの講座も開設する。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

特徴的な取組による成果・効果

◆子どもや親子での講座参加者が増加。また、モデル事業の指定により、役員の意識が高まり、支館・分館でも幅広い年齢層が自主的に参加するような新規事業を立ち上げた。
◆他団体や他部局との連携により、それぞれのノウハウを生かした特色ある講座を開設することができた。また、複合施設の利点を活かし、女性の家との共催で開設した働く女性や子育て世帯への支援につながる講座には20代30代の参加も多くみられた。

これまでの取組全体による成果・効果

◆館報編集や公民館まつり企画運営など、多様な立場の方の主体的な取り組みによりアイデア豊かに改善することができた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

◆文化団体・女性団体・利用団体代表、学識者、市内校長会代表、青少年育成連合会代表、市民公募等7名で構成される公民館運営審議会を年度末と次年度構想作成前の2回開催 ◆支館長・主事会議を年3回開催 ◆支館ごと分館役員を中心とした運営委員会を開催

◆実践に対し、基本方針・重点を観点とした評価や改善点について議論。課題を明確にしすぐに改善できる(要する)こと、次年度に向けての改善点に大別し企画運営に反映させている。また、支館・分館の現状や課題についても意見交換・情報交換し地域に密着した支館・分館運営に反映させている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

◆中高生にも公民館に関心を持ってもらい参加してもらおうと、対象講座の新設や発表の機会を設けたり、学校の協力を得ての広報やSNSやYoutubeを活用して発信したりしているが、なかなか成果が上からずにいる。中高生の参画やニーズに応えられるようさらに改善するため、中高生の声を聞く場を設定するなどの工夫をしていきたい。

◆施設の老朽化に伴う修繕箇所も年々増えており、利用者が集いやすくより快適に利用できるよう改善も要する。しかし、市財政状況が厳しさを増す中、公民館関連予算も減少しておりなかなか思うようには進まないが、利用者のボランティア活動や職員作業により環境整備を工夫している。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

「協働・主体性」 ◆生活や地域の課題を行政だけに頼るのではなく、住民の主体性や協働が求められている。そんな中、公民館としても、住民が課題と向き合い主体的に学習・実践していくために、他機関等と協働して、地域に密着している支館・分館の事業が充実していくよう情報交換会・研修会を開催するなどの支援をする。

◆自由に学ぶことができる場を保障し、学習を通してつながり教養を高めたり交流を深めたりすることができるよう、多様なニーズに応える講座等の充実やサークル活動への支援など、人々がつながり生きがいをもって暮らし続けるための学習と実践を支援する。

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

◆幅広い年齢層の多くの住民の参加や主体的な活動を促すために、役員だけでなく多くの住民の意見・要望を聞きとり改善に生かす工夫や支館・分館との連携をさらに深め機能する組織となるよう改善する。その中で、地域や生活の課題についても主体的に学習が進められ、地域づくりに関わる市民活動につながるよう支援する。また、若年層の増加のために、とりかかりとしてイベント等において中高生が企画運営に参画してもらえるよう学校との連携や体制づくりを進める。

おまかせください 学びと出会いのお手伝い

瑞浪市 陶公民館



公民館の取組概要・経過

背景

- ・公民館の役割や利便性、活動内容についての情報発信が微弱のため地域住民の認知度が低い
- ・利用者の固定化と高齢化が目立ち、若年層の利用が少ない

特に力を入れていることや取組

- ・幼児園と高齢者との触れ合いの場を設ける→高齢者学級（寿大学）運動会時に地元園児との触れ合いの場を設ける
- ・公民館講座では、幅広い年齢が受講でき、生活に実用性の高い内容の講座の開講に努める。また、男性をターゲットにした講座の開講を試みる。
- ・月刊の公民館通信を全戸配布、HPでも閲覧を可能にし、他講座紹介、地元イベントの様子も掲載
- ・**公民館職員による出張公民館講座**
- ・地域の組織、団体との協働によるイベントの開催

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・小学生の公民館見学…子どもたちに公民館業務・施設を知ってもらい、気軽に立ち寄れる居場所づくり
- ・利用者アンケートを参考に公民館の在り方の改善に努め、利便性の向上を目指す
- ・地域住民のニーズにあった公民館講座の開講による受講者増加、新規公民館利用者の獲得

#異世代間交流 #学びを喜びに #公民館って何 #学びで変わる

都道府県名	岐阜県	公民館対象人口	3164人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	瑞浪市	建物設置年月日	平成16年8月31日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（陶町明日に向かって街づくり推進協議会） <input type="checkbox"/> その他（ ）					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1472人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 147人（映画上映会、コンサート）	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 15556人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1240人	計	18415人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人）	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	3人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（陶町明日に向かって街づくり推進協議会）					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（館内全館にてWifi利用が可能）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 （陶小学校、瑞浪南中学校、恵那南高校、陶町連合区、社会福祉協議会陶支部、陶地区民生・児童委員協議会、食生活推進協議会陶支部、交通安全協会陶分会、サニーヒルズみずなみ、陶宅老所、瑞浪南部地域包括支援センター、瑞浪市健康づくり課）					

瑞浪市陶公民館

OPEN 9:00~17:15
TEL 0572-65-2112

H P <http://suechou.com>
SNS





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

・公民館講座での作品展示、職員による出張公民館講座、自主講座への転換

講座での作品を展示する機会を設け、来館者に講座の内容を知ってもらえると同時に、新規受講者の獲得につながった。公民館職員が積極的に外部の研修に参加し、町民のニーズに応えた新しい講座を開設したり、町の祭り等で出張公民館講座を行うなど、公民館活動への参加や関心を惹いた。公民館講座では、受講者自らが講座運営を管理し、自主講座として開講が継続できるよう援助した。これにより、学びの意欲が高まり主体的な活動が増加した。



・街づくりとの連携による小学生対象の郷土学習と花の苗配布活動

街づくりと協働し小学生の郷土学習に協力。街づくり関係者と公民館職員とで郷土資料を作成し、実際に町内の史跡を見学。自分たちが育った地域の歴史に興味を抱き、ふるさとを誇りに思えるよう情操を育てている。また、花の苗を2か月かけて育て、花の見ごろ前に町内の施設・学校・地区の花壇に配布。町民と一体となって町の美化活動を行っている。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・新たな内容の公民館講座の開講により、町外からの受講者や、今までにない年齢層の受講者が増加。
- ・スポーツイベント開催により地域コミュニケーション力が高まり、幅広い年齢層の参加者が集まり、以前より異世代間交流が増した。

これまでの取組全体による成果・効果

公民館講座受講者やイベント参加者が増えたことにより、今まで公民館とはあまり関わりのなかった町民からの要望や希望などについて生の声を聴くことができた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・指定管理者である陶町街づくり推進協議会の総会時にて公民館の年間業務を報告。総会参加対象は町民、域内各種団体。報告内容に対する意見を参考に日々の公民館活動の質の向上に努める。
- ・利用者アンケートから公民館への要望、意見などを抽出。職員間で共有。
- ・東濃地区社会教育振興協議会研修会、瑞浪市青少年育成市民会議への出席、市内各公民館担当者会議での情報交換などを参考に活動の充実を図る。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

・各種団体と協力のうえ行事、イベントを開催するが、最終的には公民館職員が実動になることが多く、団体の自主性が希薄化している。公民館主体になるのではなく、各種地域団体自らが責任と自覚をもって事業に取り組めるよう、事業後の見直し・改善について検討している。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

町民には公民館を“**自分に一番身近な施設**”と感じてもらえるような**利用しやすい環境**を目指す。そのためにも、情報交換の機会を今以上に設ける必要があると考える。そして、**公民館が地域のコーディネーター**として、学校や地域団体等幅広く関係機関と連携した事業を進め、地域住民に学びの場、交流の場を提供できる橋渡しの役目を担っていきたい。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

市内でも高齢化率の高い地域であり、青少年、子育て世代の減少が目立つ。まずは高齢者が孤立することのないよう、地域団体や学校との連携、情報交換を密にする必要がある。情報共有したうえで年齢の壁にとられないことのない各団体の専門分野を活かした催し物の開催、相互交流、コミュニティーの活性化を図りたい。そして、公民館が地域の中枢となり、各団体が円滑にかつ協力しあえるよう、地域の橋渡しとして、町民が活動できる事業を展開しながら今後も運営と地域課題に取り組んでいきたい。





公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 公民館来館者減少（利用者が一部に限られる）
- 若者の公民館離れ（特に高校生から20歳代）
- 休耕地を活用しひまわり・ネモフィラ・菜の花・コスモス畑を作る

取組

- 既存の行事をスクラップ&ビルド（多くの人が集うしかけ）
- 情報発信強化のため、FACEBOOKにひまわりの生育状況やイベント情報など発信
- 公民館だよりを市のホームページに掲載
- 市内保育園・幼稚園児と共にひまわりの種まき
- 魔女コンテスト・ひまわり迷路を実施（魔女コンテスト＝ひまわり迷路を背景に空を飛んでいるような写真を撮影）
- 長良川に鯉のぼり約100匹を吊り下げる
- 夏・冬の星空観察

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 公民館来館者数が増加
- 住民同士のつながりが強くなり、いくつもの小さなコミュニティができた
- 子どもと大人とのまちづくりプロジェクトが発足、プロジェクトからの市への政策提案を行い、さらには政策が実現

公民館は人が集う、居場所

つながりが大事

都道府県名	岐阜県	公民館対象人口	1407人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	美濃市	建物設置年月日	平成9年3月	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 300人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 500人（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 200人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 500人	計	1500人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	3人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 洲原防災コミュニティセンター、洲原地域ふれあいセンター ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（ 防災倉庫もあり、地域の防災の拠点となる。市の出張所としての役割もある。 ）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 美濃小学校、美濃中学校、武義高校、中部学院大学、美濃市社会福祉協議会、美濃市総務課、美濃市教育委員会、洲原地域活性化協議会	

洲原公民館

OPEN 9:30~17:15

TEL 0575-32-2105

H P <http://www.city.mino.gifu.jp>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●子どもと大人の地域づくり

市内の園児から大人まで集まり、互いに会話し、笑い、楽しむ場所を提供する。さらに、地域の活性化をより一層図ると共に人と人の絆を育むため、生涯学習講座や「洲原ひまわりプロジェクト」等を開催。公民館長を中心に各種団体、地区住民で組織する「元気モリモリ洲原村」が企画・運営し、その事務局を公民館に置いて活動し「洲原まるごとひまわりの里」として様々な活動に取り組んでいる。「ネモフィラ、菜の花迷路」「長良川を渡る鯉のぼり上げ」「自転車で学校を走ろう」「ひまわりの種まき」「ひまわり迷路」「ひまわりフェスティバル」「木育寺子屋宝箱作り」「四季コンテスト表彰式」「洲原神社ライトアップ」などを開催。

●講座等で学んだことを生かす機会を創出する、「地区文化祭」を実施。

公民館で多くの講座を行っているものの、参加者同士のつながりや生かす場面もなく、趣味の範囲を超えないものであったため、地区文化祭を実施。それぞれの講座参加者同士がつながるとともに、学びを生かすためのきっかけを生み出す機会を創出。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

●公民館来館者数が増加

・特にひまわり関連事業では、種まきに50人、オープンセレモニーに延べ800人、フェスティバルに約2,700人が来場。新聞・テレビの報道、来場者の口コミやSNSでの拡散により来場者が増加。

・ひまわり関連事業では、1年を通して、ネモフィラ・ひまわり・コスモス・菜の花を栽培し、自由に散策してもらった。年間を通じ延べ16,000人が来場。

●地域住民をはじめ近隣の住民や県内外の多くの親子等が参加。

●公民館活動を通じてできた住民同士のつながりが、子どもと大人との対話づくりの場の創出につながった。

これまでの取組全体による成果・効果

●子供から大人までの世代間交流が進むと共に、住みよいまちとして、魅力が高まった。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

●学識者や自治会関係者等14名で構成する公民館運営審議会を年間3回開催

●公民館の現状や課題、取組ごとの振り返りや次回への改善点等を議論、多様な意見等を踏まえながら検証・改善を行っており、PDCAを意識した公民館運営を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●一部の限られた者のみが活動を行っている状況であり人材不足が深刻。まずは公民館を知ってもらうことが必要と考え、各種事業に来てくれた方々と関係を築きながら、講座やボランティア活動等への参加を促し、結果公民館関係人口の増加につながった。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

●地域の特色を生かし、地域の住民子どもから大人・高齢者までが一緒になって公民館の活動を続けている。⇒**公民館は人が集う、居場所。**

●公民館だけでは難しいことも、行政機関や関係団体等を巻き込みながら、連携協働する道を探ることが大切である。学校や市役所、福祉機関や大学、NPO等と繋がり、いざという時に互いが助け合うことのできる関係性、ネットワークの構築が大切である。⇒**つながりが大事。**



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

●地域住民を中心に1年を通して人が気軽に立ち寄れるよう、ひまわり以外にも春にはネモフィラを育て、夏冬には星空観察、自転車を活用した事業を行うなどして、里山の四季を実感してもらえるような工夫をしていく。



学びあい、育ちあいのできる場所づくり



多治見市根本交流センター

公民館の取組概要・経過

取組概要

1) 利用促進における取組

- ① 定期利用団体の活動支援「ねもとオープンサークル」
- ② 居心地のよい空間づくり
子育て世代に喜ばれる乳幼児室・遊戯室
図書コーナーを含む機能的なロビー空間
- ③ 三世代が集う集客性の高い「三ツ星ファミリー事業」

2) 地域づくりの拠点施設について

- 地域へ広がりを持たせる事業「ココラプロジェクト」
- 地域の良さを再発見「ねもとめぐり」
- あそびを通してバリアフリーな関係づくり「みんなテラス」

3) よりよい施設運営のための取組

- ① 地域のコーディネート的な役割
- ② ボランティアの育成
- ③ みんなで施設管理

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果が得られました。

- 定期利用団体の活動支援として体験会を開催し、新規参加者を呼び込み、活動の継続化、利用率up。
 - 多世代の声が響き渡り、居心地のよい場所づくり。
 - 各種団体をつなぐコーディネーター役。
 - ボランティア活動を通して、地域交流・多世代交流。
- # 地域の拠点施設 # 地域交流 # 多世代交流
ボランティア # 笑顔 # 子育て支援

都道府県名	岐阜県	公民館対象人口	11712人	インターネット接続環境	無
市区町村名	多治見市	建物設置年月日	平成25年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (公財) 多治見市文化振興事業団 <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 12226人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 28284人 (児童センター)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 40116人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 11714人	計 92340人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 12人	計 15人		
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (根本交流センター活性化委員会)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (児童センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (自然豊かな環境のもと、郊外にあるコンパクトシティの拠点施設として機能している)				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自治会、多治見市、多治見市根本校区青少年まちづくり市民会議、根本校区地域力向上推進会議、ふれあいねもと、民生主任児童委員、根本小学校、北陵中学校、小泉中学校、南姫中学校、重根本幼稚園、帝京可児高校、多治見西高等学校、岐阜大学、多治見市保健センター、NPO法人多治見ひなたぼっこ、NPO法人ぎふ多胎児ねと、多治見市図書館、多治見市学習館、市内公民館、児童センター)				

多治見市根本交流センター

OPEN 9:00~21:30

TEL 0572-27-5500

H P <http://www.tajimi-bunka.or.jp/nemoto/>

SNS <https://www.facebook.com/nemoto.kouryu/>





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●地域へ広げる取組「ココカラプロジェクト」

地域の拠点施設である根本交流センターで学んだことを町内会や子ども会へ広げていく取組。具体的には、運動講座「みんなでラジオ体操」「らくらく筋力アップ体操」、防災講座「トイレの備え・ペットの避難」「ハザードマップを活用した町づくり」「パッキング（非常食）を作ってみよう」など数年にわたり活動を展開しています。

●学びあい、育ちあいのできる居場所づくり～ボランティアの育成・「ねもとレインボー☆キッズ」

人生100歳時代の中で、健康寿命を延ばすために、高齢者の生きがいづくり・やりがいづくりの場を創造します。子どもたちは地域の方とともに様々な体験を行い、楽しさの中で豊かな心を育みます。また、「ねもとレインボー☆キッズ」では、小学生ボランティアに役割をもたせ、各種行事に企画から参加させることで、将来の地域の担い手を育成しています。

●子ども子育て～あそびを通してバリアフリーな関係づくり「みんなテラス」

地域の子どもたちと障がいを持っている子どもと一緒に参加できるあそび、音楽鑑賞、観劇などをセレクトして、交流を促進する事業を展開しています。また、子育て世代を応援する取組として、ママのためのリラックスタイム「ママテラス」、親子のふれあいを大切にする「パパテラス」を実施しています。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・地域資源の活用、リーダーの育成 ・学んだことを人に伝えることで、より深い学びにつながる
- ・交流センターまで足を運ぶことのできない方にも同様の取組を体験していただける
- ・地域課題をみんなで共有 ・役割を持たせ、満足感を得る ・郷土を愛する心を育む
- ・文化継承としての紙芝居づくり ・公平性を大切にする子ども子育て ・子どもの自主性を引き出す

これまでの取組全体による成果・効果

- ・気軽に立ち寄れる場所、活気と笑顔あふれる居場所づくり



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

イベントを実施する際に、単年度の実行委員会を結成します。地域住民の意見をダイレクトに取り入れることが最大の目的です。そこで根本交流センターはコーディネーターとして人と人を繋げます。その目標達成のために最も大事にしていることは、事業の目的を明確化にすることです。そこからディスカッション形式でイベントを作り上げます。その内容を活性化委員会に報告し、意見の聴取をしたり方向性の確認、検証などを行います。このような実行委員会形式を、小規模のサロンでも同様に取り入れて実施しています。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 地域住民のボランティア活動継続について役員が1年交代であるため、築いた関係性を単年度で終わってしまわないように、個々人の得意分野を見出し、各種ボランティア団体において活動を継続できるよう受け皿を用意し、継続的なサポーターづくりを行っています。
- 地域の治安安定のために学校、家庭だけでなく、地域における子どもたちの様子を見守り、小中学校との情報交換、共有を積極的に行っています。虐待、DVなどの早期発見、子どもたちの成長に合わせたプログラム作りで自己肯定感を持てる事業を展開しています。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

ここに集まる「人」を大事にしています。場所をいかに創り上げるのは人です。複合施設であるがゆえに来館目的が様々です。どんな利用目的であろうとも、利用者にとって**安心できる居場所**であるようサポート体制を整えています。複合施設のメリットとして、**多世代が集いやすい**ことがあります。核家族や独居世帯が増えていく中で、多くの**交流機会**を設け積極的に参加を促します。その時限りのつながりにとどまらず、地域交流、多世代交流事業を通して、**住みやすい町づくり**、**地域で子育て**という大きな目的を同時に達成できるよう心掛けています。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

当たり前にある場所から、なくてはならない場所・存在になっていきたいです。具体的には小学生ボランティア隊、中高生ボランティア隊が地域に頼られ、引っ張っていけるよう力をつけていきたいです。今後ボランティアの高齢化、後継者問題に直面した時に、次世代を育てつなげる取組にいち早く着手していく必要があると考えます。例えば、地域課題を見出し、解決するボランティア活動です。探求心を持ったボランティア活動、地域に根差した生きた活動をしていきたいです。根本交流センターを拠点として、ここに集まる人が生き生きと輝くために、地域資源を有効活用し、さらなる地域活性化を目指します。





公民館の取組概要・経過

○活力ある地域づくり

入野協働センターは、地域コミュニティの拠点施設として、自治会、各種団体、住民とともに様々な活動を通して、活力ある地域づくりに努めている。

○地域住民と連携した事業

「入野地区ふるさと夏まつり」

毎年8月上旬に開催される佐鳴湖花火大会に合わせた地域ふれあい事業として、自治会及び関係地域団体等が主催する夏まつりで、地元の民謡クラブが講師となる盆踊り講座や太鼓講座を事前に開催し、受講した多くの子供たちとその保護者等が参加している。

「凧あげ教室」

入野地区凧揚会が講師となり、子供たちに凧づくり、凧あげを教える地域づくり講座として毎年12月に開催している。

取組による成果や効果、大切にしていること

○入野地区ふるさと夏まつりは、自治会と各地域団体が中心となり準備を進め、当日の会場には講座受講者が盆踊りや太鼓に参加する等、入野地区住民が主体となって盛り上げている。

○毎年5月の「浜松まつり」の凧揚げは、入野地区の「義廣(よしひろ)」凧が発祥と言われており、凧あげ教室は地域の歴史と伝統を継承する事業として継続実施している。

このように、地域住民との協働によるまちづくりや生涯学習の推進に努めている。

都道府県名	静岡県	公民館対象人口	24314人	インターネット接続環境	有		
市区町村名	浜松市	建物設置年月日	昭和55年4月	来館者利用可能PC台数	0台		
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市)						
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1233人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	81721人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	95人	計
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	895人	(地域ふれあいフェスタ、地域団体連絡会、体育館一般開放等)			83944人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	4人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	3人	計
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)			7人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (浜松市社会教育委員会)						
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール			
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用			
	<input type="checkbox"/> その他	()					
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (届出・証明等の市民サービス窓口を併設、付設体育館)					
	<input type="checkbox"/> 自由記述	()					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> NPO			
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> その他			
<input type="checkbox"/> 自治会連合会、シニアクラブ、子ども会、民生・児童委員協議会、小中学校、PTA、中学校区青少年健全育成会、体育協会、交通安全協会、交番、社会福祉協議会、消防団、水防団、凧揚会、地域包括支援センター、保護司会等							

浜松市入野協働センター

OPEN 8時30分

TEL 053-449-2396

H P <https://www.city.hamamatsu.s>

SNS



①特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

○仲良く！楽しく！地域の活性～「歌声喫茶 I N 入野～フォーク茶ロン～」

入野地区には、「やらまいか入野」、「うたごえ入野」、「童謡・抒情歌をうたう会」など、歌を楽しむ地域活動団体が存在する。これにより、地域住民が自由に参加でき、歌を通して交流できる講座として、地域文化セミナー「歌声喫茶 I N 入野～フォーク茶ロン～」を平成25年度から毎年5回開催している（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施）。この取組が認められ、昨年度「集まれ市民力～生涯学習推進フェスタ」の「はままつ地域づくりフォーラム」において、実践発表を行った。

○地域の発展と地域力向上

令和元年度の地域力向上事業として、『「佐鳴湖のあるまち」入野地区とボート競技講演会』を開催し、佐鳴湖から生まれたロサンゼルス五輪出場選手と、入野地区でボート競技に関わり続ける方が講師を務め、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を前に気運を盛り上げるとともに、佐鳴湖のある入野地区の魅力を地域住民に再認識していただき、地域の発展と地域力向上につなげる取組を行った。



②公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

「歌声喫茶 I N 入野」、「凧あげ教室」のほかにも、地域の生涯学習ボランティアが講師となる「子ども講座」等は、毎年恒例の講座で人気の高い講座となっている。

これまでの取組全体による成果・効果

講師・受講者がともに講座を楽しみ、地域住民の輪が広がっている。講座が参加者にとって憩いの場となっている。

継続的な活動が地域に浸透し、協働センターの取組への連携・協力につながっている。



③取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

○自治会、社会福祉協議会等の地域団体の活動拠点として利用され、日頃から取組に対する協力や意見交換を行っている。

○毎年5月には、入野協働センターで「入野地区地域活動団体連絡会（入野サミット）」を開催し、上記の団体に加え、小中学校、PTA、子ども会、体育協会、凧揚会等の各団体役員が集まり、1年間の行事予定や団体間の連携・協力体制を構築する。この中で、協働センターの事業等についても情報共有を図り、理解と協力をいただく場となっている。

④新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

○近年、高齢化が進み、世代を越えたつながりや近所のつながりが希薄になりつつある。夏まつり等の伝統行事や、凧あげ教室、歌声喫茶 I N 入野等の魅力ある講座を開催することで、地域住民が協働センターに集い、顔を合わせる機会となっている。

○地域行事等では、過去の資料や前任者からの引き継ぎをもとに取り組んでいるが、経験が浅くは的確な判断や指示が難しい。地域を熟知している自治会長経験者等、地域の人材がまちづくりに関わり続けながら、後任を育成していくようなくみが望ましい。

⑤公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

○地域住民との協働によるまちづくりの支援（自治会、地域団体との連携・協力体制の構築）

○参加者が楽しく学習、体験できる講座等の提供（人気が高く、入野独自の講座やイベント等の継続）

○地域活動や行事等への参加を通じて、地域の魅力を再認識（地域資源や伝統の継承）



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

○入野地区のシンボルである佐鳴湖を地域資源として、環境保全、スポーツ（ボート競技）振興、伝統を継承する取組等を実施・継続していきたい。

○令和2年度には佐鳴湖地域協議会事務局が主催して行う佐鳴湖のヨシ刈りに併せ、「湖面から佐鳴湖を体感しよう！（佐鳴湖ボート乗船体験）」を企画し、開催。浜松市ボート協会の皆さんに協力いただいた。当日はあいにくの天気となったが、湖面は抜群のコンディションで、参加者はヨシ刈りした湖岸や湖面からの景色を眺め、佐鳴湖のすばらしさを再認識することができた。



北名古屋市東公民館

公民館の取組概要・経過

きっかけと取組

● 公民館とユネスコスクールとの連携によるESD推進事業

① 平成28年度に能田徳若万歳鑑賞会を開催。

師勝小学校と能田徳若万歳保存会、東公民館が連携し、地域住民の参加型鑑賞会を開催。

② 平成29年度に防災体験学習「師勝小学校が避難所になる!」を開催。

師勝小学校、小学校PTA、おやじクラブ、北なごや防災ボランティア、西春日井広域消防組合と防災担当職員（元自衛隊員）、東公民館が連携。師勝小学校の親子、地域住民が参加。防災クイズ、避難所設営等、ワークショップ（AED体験・簡易担架体験等）を開催。

● 公民館研究発表会事業

文化協会と師勝中学校との交流

市文化祭に師勝中合唱隊が発表し、お茶会を体験した。

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

① 平成29年度には能田徳若万歳保存会が独自の鑑賞会として継続、「土曜こども教室 能田徳若万歳」の開催。

② 平成30年度にはおやじクラブからの依頼で北なごや防災ボランティアが夏祭りに参加。防災ボランティアは市内の活動の場が1校から4校に増加。

主役は市民・各団体 # 楽しいは何かにこだわる # 場所にこだわらない # 自主性を引き出す # 持続可能 # 次世代

地域のコーディネーターを目指す公民館

都道府県名	愛知県	公民館対象人口	43078人	インターネット接続環境	有
市区町村名	北名古屋市	建物設置年月日	昭和46年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 140人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 21人 (女性の会役員9名・文化協会役員12名)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2145人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計	2306人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人	計	7人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会教育委員会・文化協会役員会等)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (女性の会・文化協会・市内ボランティア団体の支援)				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (展示コーナーの利用が多い。作品作りの工程や説明文等の掲示に工夫している。)				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (能田徳若万歳保存会・師勝小学校・師勝中学校・小学校PTA・おやじクラブ (小学校)・北なごや防災ボランティア・北名古屋市文化協会・師勝少年少女合唱団・西春日井広域消防組合・名古屋芸術大学)				

北名古屋市東公民館

OPEN 9:00~17:00

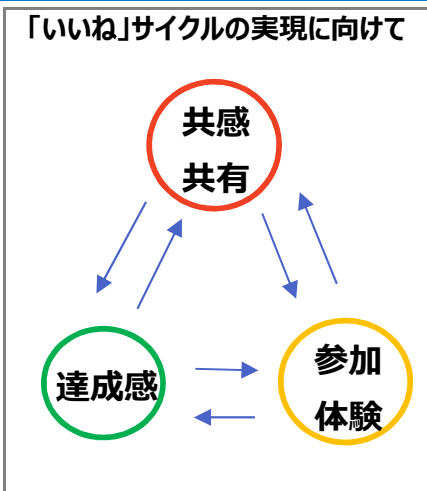
TEL 0568-22-4560

H P e-komin@city.kitanagoya.lg.jp



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 特に力を入れていること・・・「いいね」サイクルの実現に向けて、地域の各団体と連携し事業を展開する。事業の目的とその意義を共有、共感し、各団体が参加に伴うための問題を洗い出す。各団体ができること、できないことを明確化し負担のない参加を促す。共感・共有できた事業は各団体が参加・体験の動機付けとなり、大きな達成感が得られる。この「いいね」サイクルを体験したことがきっかけとなり、各団体の活動の活性化や新しい活動へと導くことができる。
- 特徴的な取組・・・公民館が中心となって事業を展開するのではなく、市民や各団体が主役になれる活動ができる相談役として「地域コーディネーター」の役割を目指している。
- 背景・・・地域で活躍する人は多方面の役割を担っており、個人の負担が大きくなっている。「地域のつながり」を担う人材不足はどの団体でも抱える問題である。その解消のため、事業を検討したが、施設の老朽化、駐車場不足、バリアフリー化されていない等の理由により、東公民館を拠点とした活動は困難であった。しかし、市内の施設も公民館の活動拠点と捉え、各団体の活動しやすい施設を利用し、事業を実施することになった。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・地域ぐるみで子どもを育てる。・地域住民の絆を深める。・地域を活性化する。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・能田徳若万歳保存会が独自に鑑賞会を実施するようになった。
- ・能田徳若万歳保存会が後継者育成のため、「土曜子ども教室 子ども伝統芸能体験教室」を立ち上げた。
- ・北なごや防災ボランティアの市内学校での活動が増加した。（1校→4校）
- ・新しいつながりができた。（おやじクラブからの依頼で、防災ボランティアが夏祭りに参加）



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 各団体と連携し実施する事業はその例会、役員会等に公民館職員が参加し、各団体の特性を活かした活動ができるように意見聴取と提案をしている。事業後は各団体の意見を聞き取り、必要なときに相談し、互いに支援する関係性ができた。
- 市内の各団体の代表が参加する社会教育委員会、文化協会役員会等において、公民館事業の開催を報告するとともに、広く意見聴取を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

「働き方改革」等の理由により学校との事業の連携が難しくなっている。参加団体に負担を増やさない方法での開催を目指している。「高齢化」したサークル・クラブの中にこそ、「持続可能な力」があると考え、その再生と活動支援を行う。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

各団体が「大切にしているもの」を理解し、尊重するように心がける。事業を連携する場合は「この事業をやるのがなぜ必要か」を共有するため、「（ご協力いただける）皆さんのような大人に育つよう、子どもたちに地域活動の楽しさを味わわせ、次世代に繋げるような『地域づくり』の課題を見つけることが公民館の役割」と各団体に伝える。その目的と団体の存在意義を共感・共有することで、参加への動機付けとなり自主的な活動となる。その意欲的な参加や体験によって得られる達成感が、その後の団体の活性化につながっていく。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 公民館中心の事業に固執せず、各団体の自主活動が活性化し、独自の新しい活動や「継続のカタチ」を支援し、各団体が必要な時に連携できるように「地域のコーディネーター」としての役割を果たしていきたい。
- 公民館等の利用団体は高齢化により従前の活動の負担が大きくなっている。それを軽減し持続できるように相談やアドバイスをしながら支援していきたい。
- 各団体の「高齢化」の中にある「持続可能な力」をたくさん見つけて発信していきたい。



生涯学習活動を支える拠点



知立市中央公民館

公民館の取組概要・経過

○公民館講座等各種講座について

- ・申込者に対しての講座数・ジャンルなど受け皿の不足
- ・新たなジャンルや対象の講座を開設
(高齢者対象・託児付き・開催日が1日のみ など)

高齢者を対象としたものについては、座学を中心とした内容の「高齢者教室」、小さな子どもをもつお母さん対象の託児付き講座「バリエエクササイズ」、「時短でプラス一品料理教室」、開催日を土日などに絞ることで多くの人に参加できるようにした「プロに教わる和菓子作り」、「クリスマス花（フラワーアレンジ風）」など幅広く企画するようにした。

取組による成果や効果、大切にしていること

○成果

- ・講座数の増加により、多くの市民が学べるようになった。
(平成30年度 61講座・6,236人から令和元年度 66講座・7,018人に増加)
- ・新たなジャンルの講座もチャレンジできるようになった。

○大切にしていること

- #生涯学習の環境づくり #自主活動のサポート

都道府県名	愛知県	公民館対象人口	72312人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	知立市	建物設置年月日	昭和53年3月31日	来館者利用可能PC台数	1台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 7018人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 106194人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3000人	計	116212人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 13人	計	18人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (年1回の社会教育審議会にて、要)					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (喫茶室) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (市役所に隣接した立地のため、ミニバス(知立市コミュニティバス)等交通の便が良い)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 愛知教育大学					

知立市中央公民館

OPEN 8:30~21:30

TEL 0566-83-1165

H P <https://www.city.chiryu.aichi.jp>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

力を入れていること：公民館講座等各種講座の開設について

当公民館では毎年春・秋に長期の継続講座を企画・開設している。数・ジャンルともに豊富で多くの申込者が集まる講座ではあるが、定員に限りがあり参加できない、学びたいジャンルがない、小さな子どもがいるため参加が難しいといった市民からの声があった。また、毎年継続して企画しているため、内容が前年と同様になり、参加者が固定化しつつあるもの、講師の高齢化等の課題も見えてきていた。

そこで、上記講座だけでなく対象を高齢者にした座学中心の「高齢者教室」、託児付きの「バレーエクササイズ」、「時短でプラス一品料理教室」、開催日を1日のみにし、土日など多くの人が集まりやすい日に設定した「プロに教わる和菓子作り」、「クリスマス花（フラワーアレンジ風）」など、幅広く企画するようになった。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・講座数が増えたことにより、単純により多くの市民が受講できるようになった。
（平成30年度 61講座・6,326人から令和元年度 66講座・7,018人に増加）
- ・1日だけの短期講座を企画する時、長期では開講が難しいもの（親子対象の体験活動など講座が数回に渡ると都合をつけることが難しいもの）も開設できるようになった。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・自主活動団体の結成
- ・市民への自主活動拠点としての周知



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

各講座終了時に受講生にアンケートをとることにより、継続や内容改善等の参考にしている。

アンケート内で、参加した講座の満足度を聞くと同時に参加したいジャンル・参加しやすい日時も聞くことで、その講座の改善だけでなく、他の講座の企画参考にしている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

各講座において、内容に意見があった場合、講座自体が継続であっても内容に手を加えることがある。

その際、限られた回数・時間の中でより満足度の高いものにするための検討に苦労している。講師との打ち合わせの中で、受講生の様子や、実際の反応等をその検討材料にしている。

また、講師の高齢化の問題点から、若い講師の人材発掘にも苦労している。

こちらについては、現在の講師に紹介を依頼したり、「生涯学習人材リスト」を活用することで対処している。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

当公民館だけでなく、**地域でも生涯学習活動ができるような環境づくり**を大切にしている。

公民館講座は力を入れている事業の一つであるが、その目的は市民の新たな趣味の発見の場を設けることであり、その先に受講者同士で団体を結成して活動してもらいたいという思いがある。

講座終了後に、継続した活動をしたいという問合せをいただくことがあるが、その際は上記趣旨を説明のうえで団体の結成を促すとともに、**生涯学習人材リストや貸館場所の紹介等で活動をサポート**するようにしている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

1日のみ開催の講座を積極的に行っていきたいと考えている。

今年度は新型コロナウイルスの影響により長期継続の講座が思うように開講できない事態となっているが、そのような状況でも社会の情勢に気を配りつつ開講が可能である。

また、1日のみということで、新規ジャンルの講座を企画することでどのような反応があるのかすぐに知ることができたり、そのジャンルを得意とする講師を新たに探し出すきっかけにもなったり、イベント時に体験コーナーとして組み込みやすかったりと様々な利点がある。

長期講座の企画が困難である今だからこそ、普段なかなか力を割けない1日のみ開催の講座の積極的な企画に力をいれていきたい。



市民と地域がキラリと「光り輝くまち」

京丹後市久美浜地域公民館



公民館の取組概要・経過

経過

市町村合併により京丹後市となった平成16年4月1日、「京丹後市公民館条例」により京丹後市久美浜地域公民館が設置された。

取組

- 久美浜町公民館連絡協議会（ニュースポーツ交流大会開催等）
- 青少年教育（カヌー体験教室、夏休み子ども木工教室）
- 成人教育（ジオ・山野草ウォーキング等）
- 高齢者教室（一般講座：7回講演）（教養講座：7講座）
- 家庭教育支援（親と子のふるさと教室）
- 久美浜地域家庭教育支援チーム支援（おひさまR O O M等）
- 文化協会久美浜支部の活動支援
- 館報「くみはま」の発行（年6回）

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 住民のコミュニティ活動の推進
- 学習及び交流機会の提供など地域づくりの拠点
- 地域住民に学習機会の提供
- 高齢者に仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会の提供
- 子育てに関する学習機会の提供

都道府県名	京都府	公民館対象人口	9352人	インターネット接続環境	有
市区町村名	京丹後市	建物設置年月日	平成3年2月19日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 0人	<input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計	
	<input type="checkbox"/> その他 0人（ ） 人				
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人（ 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 ） 3人				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他（ 人権学習 ）				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）			
	自由記述（ ）				
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> NPO	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
	久美浜保育所、こりゅう虹保育所、かぶと山こども園、久美浜小学校、高龍小学校、かぶと山小学校、久美浜中学校、久美浜学園学校運営協議会、久美浜学園学校地域連携推進協議会、京丹後市スポーツ推進委員会、久美浜町公民館連絡協議会				

京丹後市久美浜地域公民館

OPEN 8：30～17：15

TEL 0772-69-0666

HP <https://www.city.kyotango.lg.jp>

SNS





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

高齢者教室

【趣旨】

学習活動を通じて、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを進めるために、京丹後市高齢者大学を開講する。

【取組】

一般講座

4月講座：演題「大和朝廷と丹後」、5月講座：「紙芝居（丹後文政一揆の新兵衛さん）」、7月講座：「口からはじめる健康づくり」、9月講座：「自分が好きな自分～気がつけば優しさがいっぱい～」、11月講座：「笑いと健康に関する講演」、1月講座：「道路と河川事業について」、3月講座（新型コロナ拡散防止の為、中止）

教養講座

ピラティス講座（計8回）、古典文学講座（計12回）、男の料理講座（計4回）、絵手紙講座（計10回）、手芸（裁縫）講座（計5回）、健康講座（計4回）



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 各種講座の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができた。
- 高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。

これまでの取組全体による成果・効果

- 地域住民に学習や健康や体育及び交流の機会を提供することができた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 地域公民館の現状や課題、取組ごとの振り返りや次回への改善点等を検討し、検証・改善を行ってP D C Aを意識した公民館運営を行っている。
- 毎月1回、地域公民会長会議（6町）を開催し、活動等に関する情報交換等を行い公民館運営に生かしている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 一層社会教育を充実させるため、地域住民の要望や向上を目的とする講座や行事を検討するとともに、広報活動を工夫するなど住民への効果的な周知に努め、参加者の増加を図る必要がある。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- ともすればマンネリ化する講座や行事等について、「**どうすれば参加してもらえるか**」をまず考え、公民館活動を続けている。

高齢者教育の取組は、まさにこの考えを大切にしてきたからこそ続けてこられたと考える。そして、公民館だけでは難しいことも行政機関や関係団体等と協力しながら連携協働することが大切である。日頃から久美浜町公民館連絡協議会、京丹後市スポーツ推進委員会、久美浜学園学校運営協議会、久美浜学園地域連携推進協議会及び久美浜スポーツクラブ等と連携して事業を実施することが大切である。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 京丹後市全体の少子高齢化と人口減少が進む中、久美浜地域公民館は、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として活動していきたいと考えています。



ひとりひとり、顔が見える公民館活動

綾部市豊里公民館



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 公民館来館者減少（利用者が一部に限られる）
- 若者の公民館離れ（小・中学校～20代）

取組

- 既存の講座をスクラップ&ビルド（事業継続を目指して）
- 真空バック機械を導入。公民館に足を運ぶきっかけづくり。
- 市外転出した若者も、地元に戻りたくなるような事業の展開。
- 公民館だよりをカラー印刷、全戸配布。
- 住民に対し学びの機会を提供。
- 自治会連合会と連携。地元全体を巻き込んだ事業展開。
- 学校、社会福祉協議会、介護事業所等を巻き込んだ活動計画。

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 公民館利用件数は増加傾向
- 地域に顔見知りが増えるきっかけになった
- 老若男女問わず、生きがいづくりの場になることを大切にしている

#居場所づくり #顔が見える活動 #生涯学習の場

都道府県名	京都府	公民館対象人口	3616人	インターネット接続環境	有
市区町村名	綾部市	建物設置年月日	平成6年3月	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（豊里地区自治会連合会） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 439人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 7484人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1883人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 461人（自治会等）				計 10267人
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人（職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人）				計 3人
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（多目的ホールを併設しており、体育館機能を保有している。）				
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 豊里地区自治会連合会、社会福祉協議会、介護事業所、豊里小学校、豊里中学校、農業大学校、綾部市教育委員会				

綾部市豊里公民館

OPEN 8:30～22:00

TEL 0773-47-0150

H P

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- ふるさと探検ウォーク
「豊里のまちを再発見しよう」をキャッチコピーに、豊里の歴史と文化を伝えふるさとに誇りを持っていただくこと、地域の教育力の向上を図ることを目的として実施。普段何気なく通る場所も地域にとっての財産であることを学ぶ機会、人との会話を楽しみながら体を動かすことの充実感を感じる事業となっている。
- 高齢者学級
高齢者の方々に学習の機会を提供し、学習の意欲をもってもらうとともに、参加者同士の交流を図り、高齢者の生きがいと地域社会への参加を促進することを目的としている。活動を楽しみながら、様々な分野の知識を学ばれている。
- 豊里地区文化祭
地域住民の生涯学習の発表の場として、昭和60年から開催。書・絵画・木彫り・化石等幅広い作品展示を開催。作品展示を前に、人々が交流・親睦をする機会となっている。
- 豊里地区球技大会
「一人・一スポーツ。日々身近なところから無理せず身体を動かしましょう」を活動目標の一つにして、実施。市外へ転出した方も、地元に戻ってくるきっかけづくり。子どもから大人までの世代間交流のひとつになっている。
- 地域学校協働活動
綾部市青少年育成連絡協議会が開催している「全市一斉声かけの日」に合わせて登校時の声かけを実施。また、小学校と連携し、子どもたちが公民館役員や地域住民とともに豊里地区の魅力について話し合う機会を設けた。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 人口は減少傾向にあるものの、公民館利用件数については横ばいか増加傾向。
- 農業機械（真空パック機）や体育館機能の保有、公民館の指定管理者が市民グラウンドの管理をしている利点を生かし、様々な目的で公民館に足を運んでいただいている。
- 公民館活動を通してできた住民同士のつながりが、豊里地区の活性化に繋がっている。



これまでの取組全体による成果・効果

- 子どもから大人までの世代間交流が進むとともに、住みよいまちとして、まちの魅力が高まった。

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

各部会ごとに、会議を行う場を設けている。事業計画や事業後の反省をまとめている。公民館運営委員会を年に2回開催し、行事の計画や事業まとめ等を話し合い、今後の公民館活動に反映させている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 公民館事業の参加者は年々減少している。しかし、安易に事業廃止を決定せず、対象者や手法を見直しながら事業を継続させてきた実績がある。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 自治会単位を分館と位置付け、各自治会長も公民館活動に積極的に関わっていただいている。公民館と連合会が連携し、**地域全体を盛り上げる**ことを大切にしている。
- 今まで公民館活動に関わったことがない人も気軽に公民館に足を運んでいただきたいと考えている。そのため、**学習機会の提供**や、文化祭・連合会との共催事業等様々な分野の行事を企画し、多くの人が楽しむことができるよう工夫を凝らしている。
- 「向こう三軒両隣」**の精神を大切にし、地域住民で声をかけあうことができる関係性の醸成を目指している。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 地域の小中学校と連携した事業をさらに組み込んでいきたい。子どもは「地域の宝」と考え、より郷土愛を育み、地域の教育力を底上げできるような企画を考案中。
- 公民館に足を運んでもらうきっかけづくり、公民館を身近な機関と捉える仕掛けづくりを考えていきたい。



学び溢れる心豊かなまちづくり

八幡市立生涯学習センター

公民館の取組概要・経過

- ・市民に対する学習情報の提供と相談機能を充実し、様々な分野にわたる学習活動の推進に努めている。
- ・市民の自発的な学習活動やボランティア活動の促進に努め、現代的課題に関する学習活動の推進を図っている。
- ・子どもから高齢者まで幅広い事業の実施や家庭教育支援、子どもの居場所作りにつながる取組にも力を注いでいる。
- ・シェイクアウト訓練や避難訓練コンサートを実施し、市民に防災意識の高揚を図る取組を実施している。
- ・「生涯学習開講式」や「生涯学習フェスティバル」では、記念講演の講師の選定を工夫するなど、市民の学ぶ意欲を高めている。
- ・市内にある公民館とコミュニティセンターを統括し、相互に連携協調を図りながら、特色ある事業を行えるよう支援に努めている。
- ・新型コロナ感染症対策に率先して取り組み、公民館・コミュニティセンターと連携し、対応を統一している。

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・市民一人ひとりが生涯にわたって活躍でき、心を通わせながら自己実現が図れるよう、多様な学習機会を提供することが大切だと考えている。
- ・生きる喜び、学ぶ楽しさを市民とともに育むことができている。



都道府県名	京都府	公民館対象人口	70564人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	八幡市	建物設置年月日	平成10年11月1日	来館者利用可能PC台数	1台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 0人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計	人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 5人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人)	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人	計	14人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府補助金)					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 社会医療法人美杉会男山病院 京都大学・京都産業大学・三重大学・仏教大学・大阪経済大学 <input checked="" type="checkbox"/> 日本銀行					

八幡市立生涯学習センター

OPEN 午前9時

TEL 075-983-6002

H P <http://www.city.vawata.kvoto.jp>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- ・市民の生涯学習活動の活性化を図るとともに、心豊かな人づくりを進めるため、毎年「生涯学習開講式」と「生涯学習フェスティバル」を開催し、記念講演、体験学習、市民ワークショップ等の多様な学習機会や学習情報を提供している。特に記念講演は、現代的課題や教育等を軸としたテーマを選定し、市民の学習領域の一層の拡充を図ることを目的としている。
- ・市内にある公民館とコミュニティセンターの取組を把握、総括し、相互に連携協調を図りながら、特色ある事業を行えるよう支援に努めている。
- ・大阪北部地震を契機に、通常の火災訓練に加え、シェイクアウト訓練や避難訓練付きコンサートを実施し市民と協働で防災に力を注いでいる。また、不審者対策として警察と連携し、不審者への心構えや護身術の研修などを行っている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・市民の安全・安心をキーワードに避難訓練付きコンサートをを行い、参加者からは再度実施を希望する声がある。
- ・開講式やフェスティバルの講演会は、著名な先生を講師に迎え、好評である。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・各年代、目的別に事業を展開。大学連携講座（歴史講座）、高齢者大学、子育て支援事業、男女共生事業、障がい者学習支援事業、子どもお楽しみ劇場、漢字検定、音楽イベント、狂言などを実施している。人口7万人規模の自治体では誇れる内容である。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・センター職員の定例のセンター会議（毎月1回）を開催し、共通理解を図っている。
- ・公民館運営審議会（年6回開催）や生涯学習推進本部、事務事業評価委員による評価を踏まえ、改善を図っている。
- ・利用団体からの要望、相談。各講座でのアンケート結果を検証し、次回の企画に反映させている。
- ・市HPや市長への「ご意見たまて箱」で市民意見をいただき、参考にしている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで進めていた生涯学習開講式をはじめ、主催事業が中止せざるを得ない状況となる。生涯学習への灯を消さないように全公連のガイドラインや公文協のガイドラインを参考に様々なコロナ対策を考えながら、実施。
- ・フェスティバルの講演会では、Wi-Fi設備はないが、今後のことも考えリモートでの講演会も視野にいれながら進めている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

生きる喜び、学ぶ楽しさを市民とともに育む。

- ・毎年工夫しながら各担当が企画・立案して実施している。市民が興味を持って楽しめるか、参加された講座をきっかけに参加者自らが進んで取り組むことができるような魅力ある講座ができないかを考えている。
- ・子どもから高齢者まで、あらゆる世代に対応した事業を展開することで、多様な学習機会を提供することが大切だと思っている。
- ・地域住民が「つどう」、「まなぶ」、「むすぶ」、「つくる」、「さがす」という5つを基本にしている公民館・コミュニティセンターの統括館として指導的役割を担っている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

市民に対する学習情報の提供と相談機能を充実し、様々な分野にわたる学習活動の推進に努めていきたい。また、市民の自発的な学習活動やボランティア活動の促進に努め、統括している公民館等社会教育施設や大学等との連携を進め、現代的課題に関する学習活動を進めていきたい。

子どもから高齢者まで、すべての市民を対象として幅広く事業を実施し、親子や子どもを対象とした事業を数多く開催するなど、家庭教育支援や子どもの居場所作りにつながる取組にも力を注いでいきたい。

